

無線リモートコントロールスイッチ

取扱説明書 V2.10

送信機

RC-242T/RC-248T

小型送信機

RCS-242T/RCS-244T

RCS-246T/RCS-248T

接点送信機

TC-242T/TC-248T

受信機

RC-242R/RC-248R

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
必要な時にすぐにお読みいただけるように大切に保管して下さい。

本製品は、内蔵している無線モジュール「HRF-2401」が北米(アメリカ合衆国およびカナダ)におけるFCC及びIC認証を取得しておりますので、該当国でご利用いただくことができます。

押しボタン送信機は日本向けと北米向けは同様ですが、受信機および接点送信機に関しては型式及び仕様に変更点がありますのでご注意ください。

押しボタン送信機:RC-242T/RC-248T/RCS-242T/RCS-244T/RCS-246T/RCS-248T

接点送信機:TC-242T/TC-248T

受信機:RC-242R/RC-248R

<製品型式>

日本向け製品型式	北米向け製品型式
RC-242R	RC-242RF
RC-248R	RC-248RF
TC-242T	TC-242TF
TC-248T	TC-248TF

<変更点>

受信機本体に装着されているアンテナコネクタタイプがSMA型→SMB型に変更されています。

付属する「アンテナ型式」とオプション販売品の「外部アンテナ型式」が日本向けとは異なります。

<受信機本体アンテナ>※付属品

日本向けアンテナ型式 RC-242R/RC-248R用 TC-242T/TC-248T用	北米向けアンテナ型式 RC-242RF/RC-248RF用 TC-242TF/TC-248TF用
GRF1398	GRF1696-SMB

<外部アンテナ>※有償オプション品

日本向けアンテナ型式 RC-242R/RC-248R用 TC-242T/TC-248T用	北米向けアンテナ型式 RC-242RF/RC-248RF用 TC-242TF/TC-248TF用
MB-13F-2	MB-13F-1.5-SMB

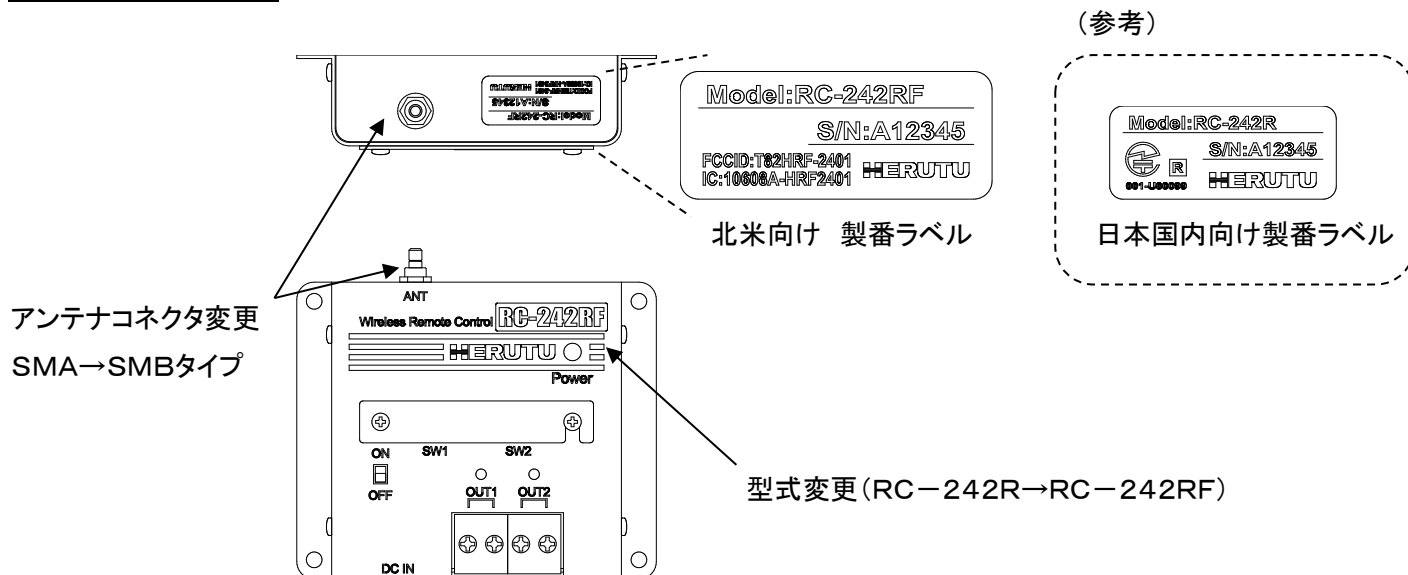
■注意

日本向けアンテナは、北米向け受信機(RC-242RF/RC-248RF)及び接点送信機(TC-242TF/TC-248TF)に取り付けることはできません。

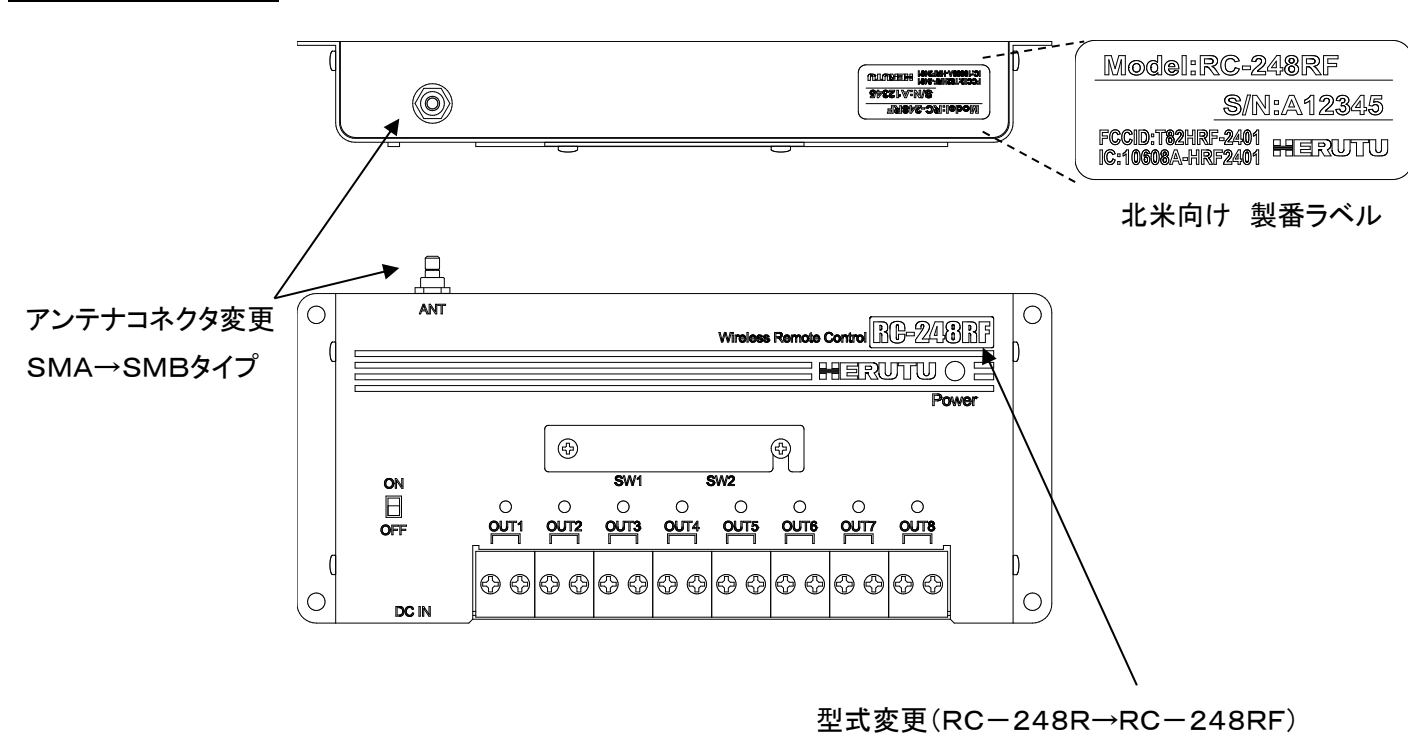
北米向けアンテナは、日本向け受信機(RC-242R/RC-248R)及び接点送信機(TC-242TF/TC-248TF)に取り付けることはできません。

北米向け

受信機 RC-242RF



受信機 RC-248RF



上記以外に変更点はありませんので、各種設定その他につきましては日本向け受信機 (RC-242R/RC-248R) の説明をご覧ください。

内容

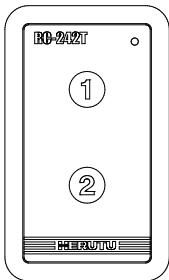
1. 概要	1
2. 本体及び付属品	3
2-1. RC送信機	3
2-2. 小型送信機	4
2-3. 接点送信機	5
2-4. 受信機	6
2-5. 有償オプション	7
3. 安全上の注意	9
4. 各部の名称と働き	14
4-1. 送信機	14
4-2. 小型送信機	15
4-3. 接点送信機	17
4-4. 受信機	18
5. 送信機の電池交換	20
5-1. 送信機	20
5-2. 小型送信機	21
6. 設置	22
6-1. 受信機	22
6-2. 接点送信機	24
7. 設定	25
7-1. 送信機の設定項目	25
7-2. 受信機の設定項目	29
7-3. 機器構成別の設定内容	33
7-3-1. 【2点式送信機 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 1台】	33
7-3-2. 【8点式送信機 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	34
7-3-3. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	35
7-3-4. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	36
7-3-5. 【2点式送信機 2台】 対 【2点式受信機RC-242R 1台】 ※ラッチ出力のみ	37
7-3-6. 【2点式送信機 4台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	39
7-3-7. 【2点式送信機 8台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】 ※ラッチ出力のみ	41
7-3-8. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 2台】	44
7-3-9. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 3台】	45
7-3-10. 【8点式送信機 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 4台】	46
8. 動作	48
8-1. 【2点式送信機 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 1台】	48
8-2. 【8点式送信機 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	49
8-3. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	50
8-4. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】	51

8-5. 【2点式送信機 2台】 対 【受信機RC-242R 1台】 ※ラッチ出力のみ.....	52
8-6. 【2点式送信機 4台】 対 【受信機RC-248R 1台】.....	53
8-7. 【2点式送信機 8台】 対 【受信機RC-248R 1台】 ※ラッチ出力のみ.....	54
8-8. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【受信機RC-242R 2台】.....	56
8-9. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【受信機RC-242R 3台】.....	57
8-10. 【8点式送信機 1台】 対 【受信機RC-242R 4台】.....	58
9. ご利用上の注意.....	60
10. 仕様.....	61
11. 寸法図.....	64
12. 故障と思う前に.....	69
13. 保証とアフターサービス.....	70

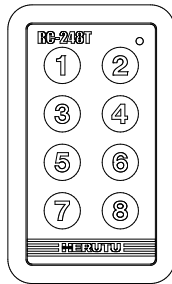
1. 概要

RC-242及びRC-248シリーズは、2.4GHz帯無線を使用した無線リモートコントロールスイッチです。

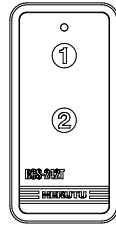
押しボタン送信機や接点入力送信機等バリエーションを豊富にそろえており、いろいろな組み合わせでご利用いただけます。



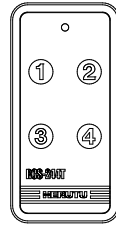
2点式送信機
「RC-242T」



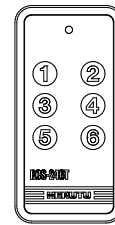
8点式送信機
「RC-248T」



2点式小型送信機
「RCS-242T」



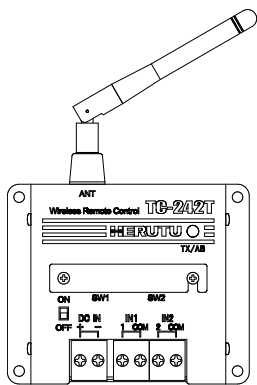
4点式小型送信機
「RCS-244T」



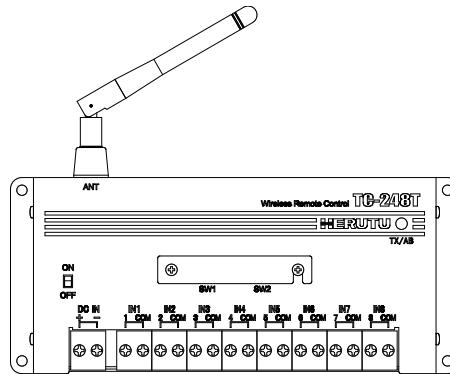
6点式小型送信機
「RCS-246T」



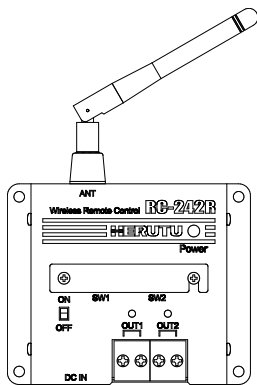
8点式小型送信機
「RCS-248T」



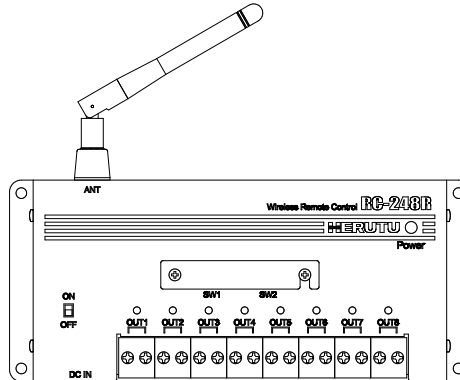
2点式接点送信機「TC-242T」



8点式接点送信機「TC-248T」



2点式受信機「RC-242R」



8点式受信機「RC-248R」

<特徴>

◆信頼性の高い通信を行います。

2. 4GHz帯 64chの周波数を16グループに分け、任意の1グループを設定して通信を行います。
1グループにはそれぞれ分散した4chが割り当てられており、自動でチャンネル選択をして通信を行います。

(周波数ホッピング機能)

アンサーバックモードで使用する際には、双方向通信により確実に信号を無線伝送します。

(送信機のLEDにより通信OK/NGの確認可能。)

◆2点式、8点式送信機(RC-***T)は単4形乾電池×2本を使用します。(アルカリ乾電池)

◆小型送信機(RCS-***T)はコイン電池(CR2032)を使用します。

◆接点送信機の電源はDC12~24Vです。

オプションACアダプタを使用することによりAC100~240Vで使用できます。

◆送信機には破損や汚れを防ぐための保護カバーが添付します。

(本製品は防滴・防水仕様ではありません。)

◆小型送信機にはオプションでストラップを取り付けることができます。

◆受信機本体の電源はDC24Vです。付属のACアダプタを使用することによりAC100~240Vで使用できます。

◆通信距離は、屋内約20m、屋外約50m程度です。

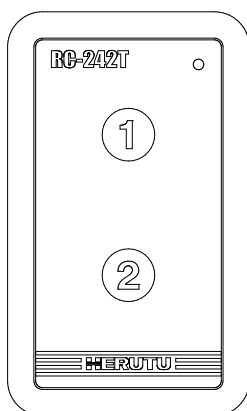
通信距離は使用環境により異なります。また、本製品の使い方(ラッチ出力/スルー出力、アンサーバックあり/なし)により異なります。上記数値は目安であり保証値ではありません。

デモ機をご用意しておりますので、事前の通信テスト等を行っていただくことをお奨めいたします。

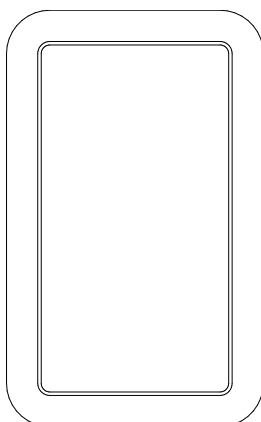
2. 本体及び付属品

2-1. RC送信機

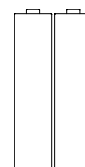
2点式送信機【RC-242T】



RC-242T 本体 × 1



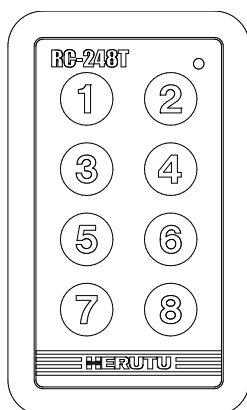
専用カバー



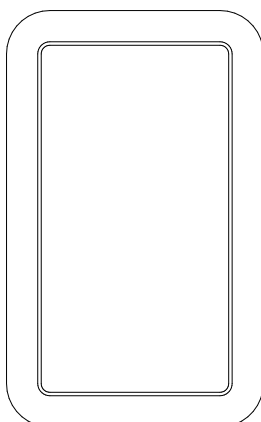
単4形アルカリ乾電池 × 2本

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

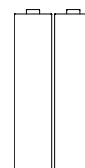
8点式送信機【RC-248T】



RC-248T 本体 × 1



専用カバー

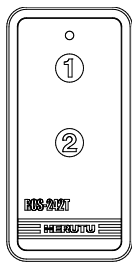


単4形アルカリ乾電池 × 2本

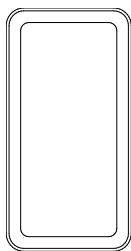
※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

2-2. 小型送信機

2点式小型送信機【RCS-242T】



RCS-242T 本体 ×1



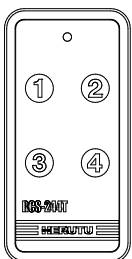
専用カバー



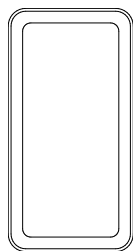
コイン電池 (CR2032) ×1個

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

4点式小型送信機【RCS-244T】



RCS-244T 本体 ×1



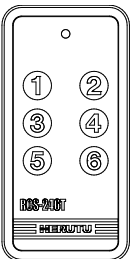
専用カバー



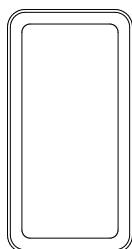
コイン電池 (CR2032) ×1個

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

6点式小型送信機【RCS-246T】



RCS-246T 本体 ×1



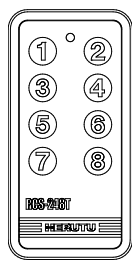
専用カバー



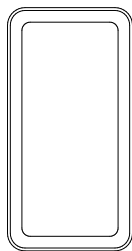
コイン電池 (CR2032) ×1個

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

8点式小型送信機【RCS-248T】



RCS-248T 本体 ×1



専用カバー

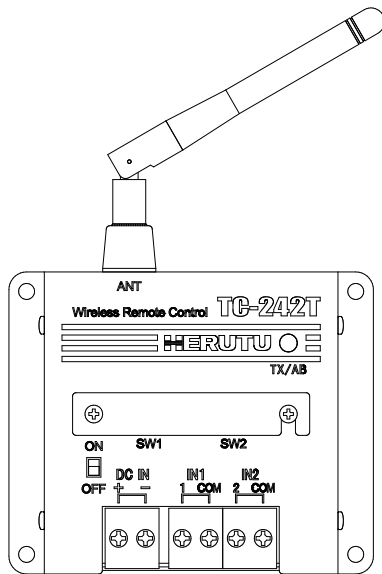


コイン電池 (CR2032) ×1個

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

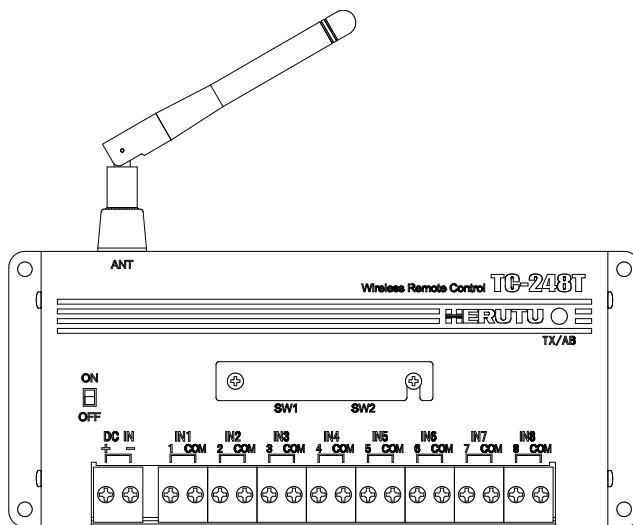
2-3. 接点送信機

2点式接点送信機【TC-242T】



TC-242T本体 × 1

8点式接点送信機【TC-248T】

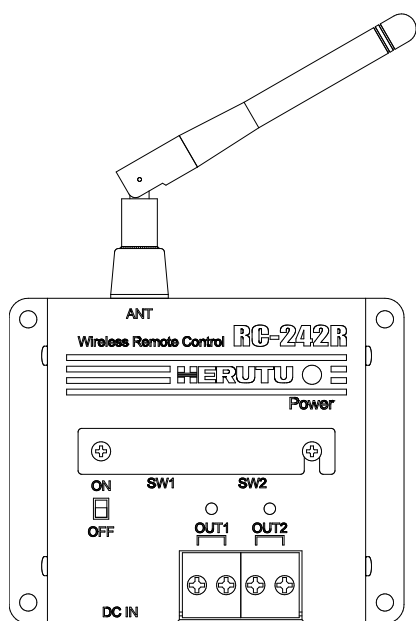


TC-248T本体 × 1

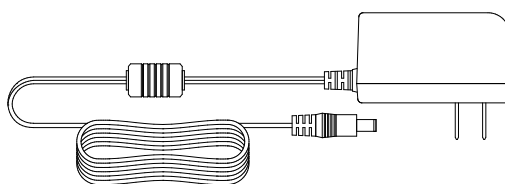
※2点式接点送信機及び8点式接点送信機にはACアダプタは付属しません。

2-4. 受信機

2点式受信機【RC-242R】

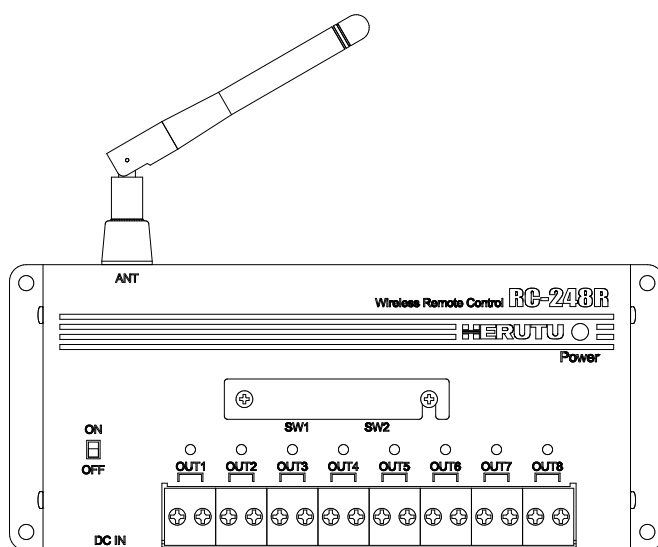


RC-242R本体 × 1

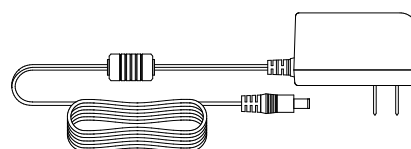


ACアダプタ【ADB24050】 × 1個

8点式受信機【RC-248R】



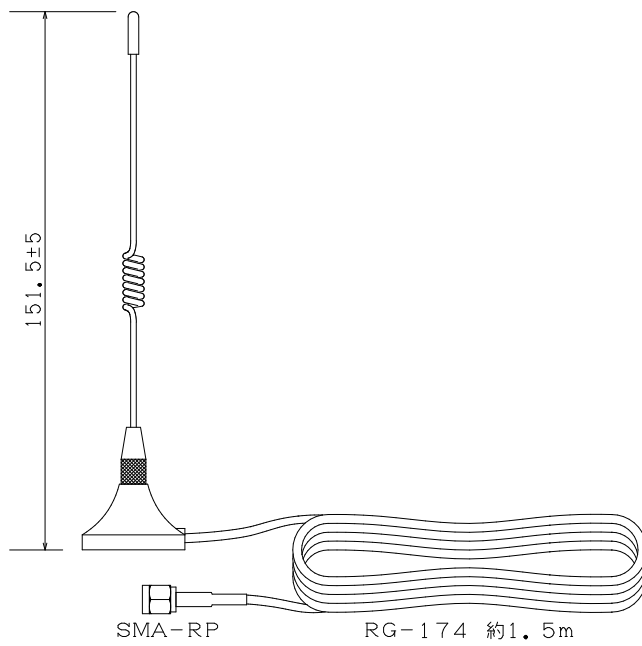
RC-248R本体 × 1



ACアダプタ【ADB24050】 × 1個

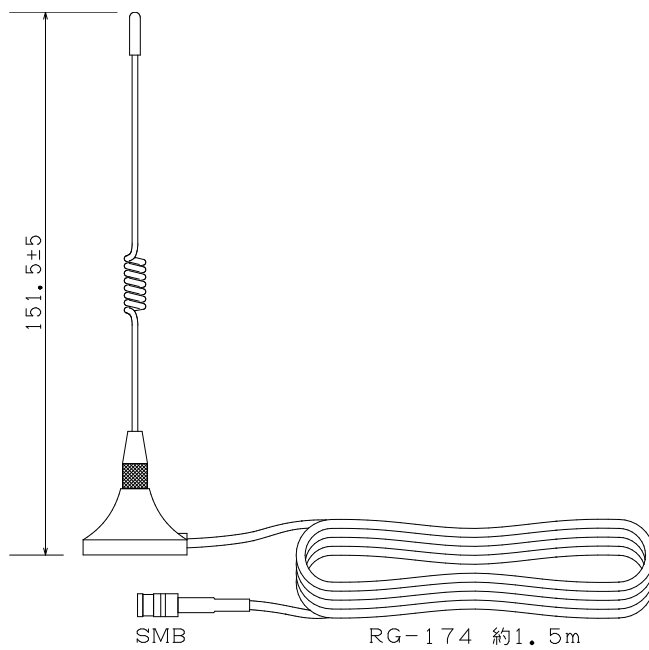
2-5. 有償オプション

- ・外部アンテナ MB-13F-2(マグネットベース付き/同軸ケーブル約1.5m)

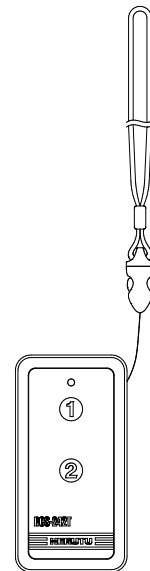
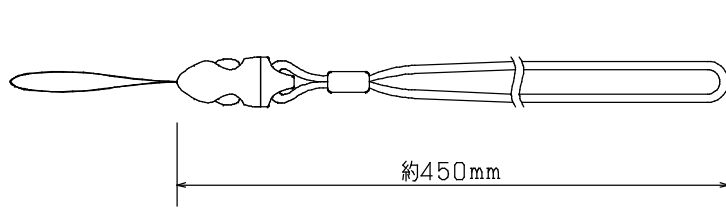


(北米向け)FCC/IC対応

- 外部アンテナ MB-13F-1.5-SMB(マグネットベース付き/同軸ケーブル約1.5m)



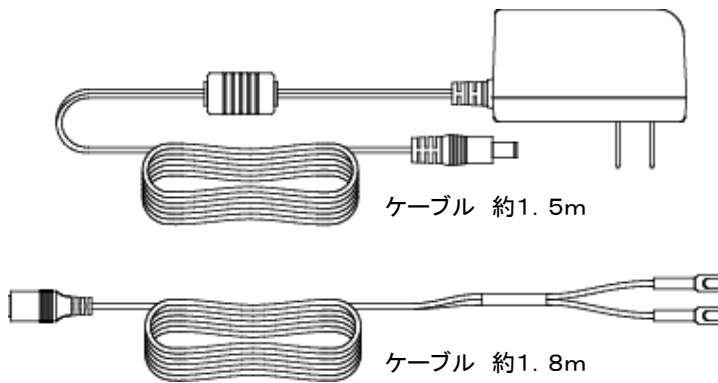
・ストラップ(小型送信機用) STPS-450L



ストラップ装着時 イメージ図

※本ストラップは小型送信機RCS242T/RCS-244T/RCS-246T/RCS-248Tにのみ装着できます
送信機RC-242T/RC-248Tには使用できません。

・ACアダプタ ADB24050-C(接続ケーブル3m付き) ※接点送信機TC-242T/TC-248T用



3. 安全上の注意

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 本機の取り扱いについて

- 本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないでください。事故や故障の原因となります。



禁止

- 使用環境及び保管環境について

- 下記の場所での使用及び保管は故障や誤動作、特性劣化、火災・感電の原因となることがありますので避けてください。

- ・ 直射日光のあたる場所での使用及び保管
- ・ 製品内に液体や異物、腐食性ガスか可燃性ガスが入る可能性のある場所での使用及び保管
- ・ 湿気の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所での使用及び保管
- ・ ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所での使用
- ・ 振動のある場所での使用



禁止



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- 本機の取り扱いについて

- 人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないでください。



禁止











- 電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないでください。



禁止



■ACアダプタの取り扱いについて

ACアダプタの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のことは必ずお守りください。

●ACアダプタを火に近づけたり、火の中に入れてください。電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	 禁止
●ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないでください。	 禁止
●濡れやすい場所で、本体を使用しないでください。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	 禁止
●濡れた手で本体・電源コード・電源入力端子台に触れないでください。感電などの事故の原因となります。	 禁止
●ACアダプタの電源コードを破損させないでください。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	 禁止
●電源入力端子台にほこりが付着したままで使用しないでください。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	 禁止
●ACアダプタの電源コードに強い衝撃を与えないでください。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
●ACアダプタの変形などに気づいたら使用しないでください。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止
●引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。発火事故などの原因になります。	 禁止
●絶対に本体を分解しないでください。事故や故障の原因になることがあります。	 禁止

■使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼してください。

●煙が出たり、変なにおいがするときは使用を中止し、本体への電源供給を止めて販売店又は弊社に修理を依頼してください。	 注意喚起
●ACアダプタの電源コードや本体の電源スイッチが傷んだら使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	 禁止

■無線の電波法についてのご注意

- 当該機器には電波法に基づく技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着しています。したがって、本製品の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。
- 本製品に搭載されている無線モジュールは、アンテナおよびアンテナ接続ケーブル式で認証を取得しています。よって、認証取得済み以外のアンテナや接続ケーブル（お客様にて用意されたアンテナおよび接続ケーブル）を使用することは電波法で禁じられています。

■2. 4GHz無線の電波干渉についてのご注意

2. 4GHz帯の無線製品で通信を行うときは、次のことがらに注意してください。

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を必要とする無線局）および特定小電力無線局（免許を必要としない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を必要とする無線局）が運用されています。
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から他無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにご使用をお止めいただき混信回避のための対処等についてご相談ください。
- その他、この機器からの移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社へお問い合わせください。

■FCC/IC Warning (HRF-2401)

Information about FCC Standard.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interface, and (2) This device must accept any interface received, including interface that may cause undesired operation:

Caution: The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference will not occur in particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Information about FCC Standard and IC standard.

This device complies with Part 15 of FCC Rules and Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux la partie 15des règles de la FCC et CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

IMPORTANT NOTE: Radiation Exposure Statement

The available scientific evidence does not show that any health problems are associated with using low power wireless devices.

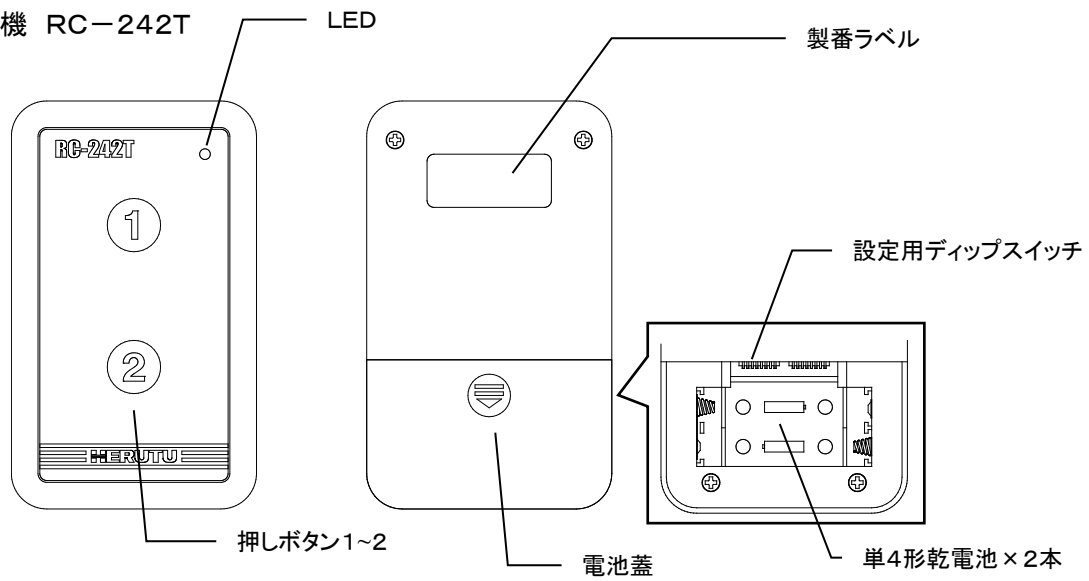
There is no proof, however, that these low power wireless devices are absolutely safe. Low power Wireless devices emit low levels of radio frequency energy (RF) in the microwave range while being used. Whereas high levels of RF can produce health effects (by heating tissue), exposure of low-level RF that does not produce heating effects causes no known adverse health effects. Many studies of low-level RF exposures have not found any biological effects. Some studies have suggested that some biological effects might occur, but such findings have not been confirmed by additional research. This device (HRF-2401) has been tested and found to comply with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules.

Les connaissances scientifiques dont nous disposons n'ont mis en évidence aucun problème de santé associé à l'usage des appareils sans fil à faible puissance. Nous ne sommes cependant pas en mesure de prouver que ces appareils sans fil à faible puissance sont entièrement sans danger. Les appareils sans fil à faible puissance émettent une énergie radioélectrique (RF) très faible dans le spectre des micro-ondes lorsqu'ils sont utilisés. Alors qu'une dose élevée de RF peut avoir des effets sur la santé (en chauffant les tissus), l'exposition à de faibles RF qui ne produisent pas de chaleur n'a pas de mauvais effets connus sur la santé. De nombreuses études ont été menées sur les expositions aux RF faibles et n'ont découvert aucun effet biologique. Certaines études ont suggéré qu'il pouvait y avoir certains effets biologiques, mais ces résultats n'ont pas été confirmés par des recherches supplémentaires. HRF-2401 a été testé et jugé conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles d'exposition aux fréquences radioélectriques (FR) RSS-102 de l'IC.

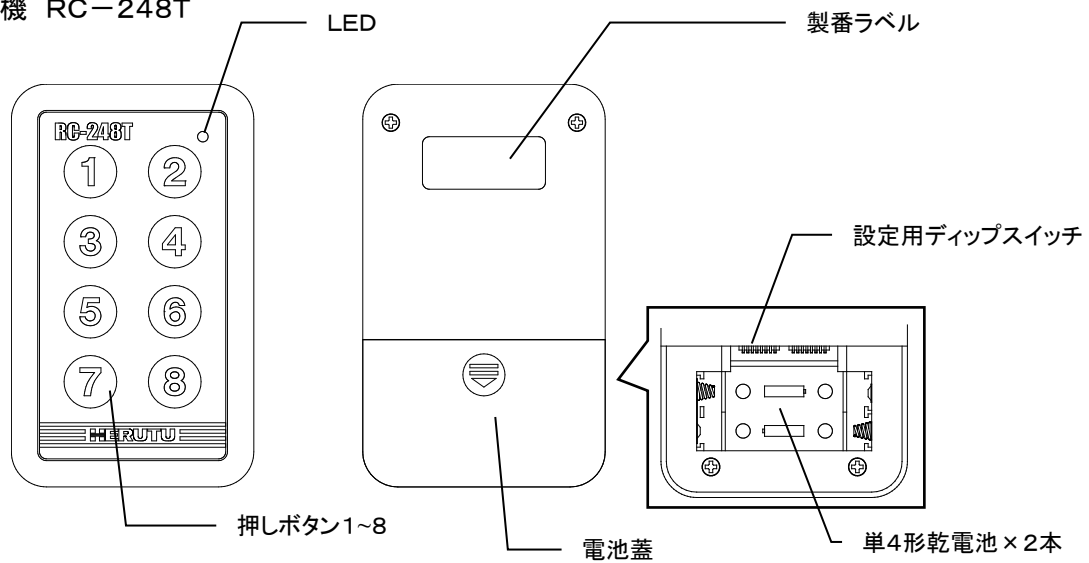
4. 各部の名称と働き

4-1. 送信機

●2点式送信機 RC-242T

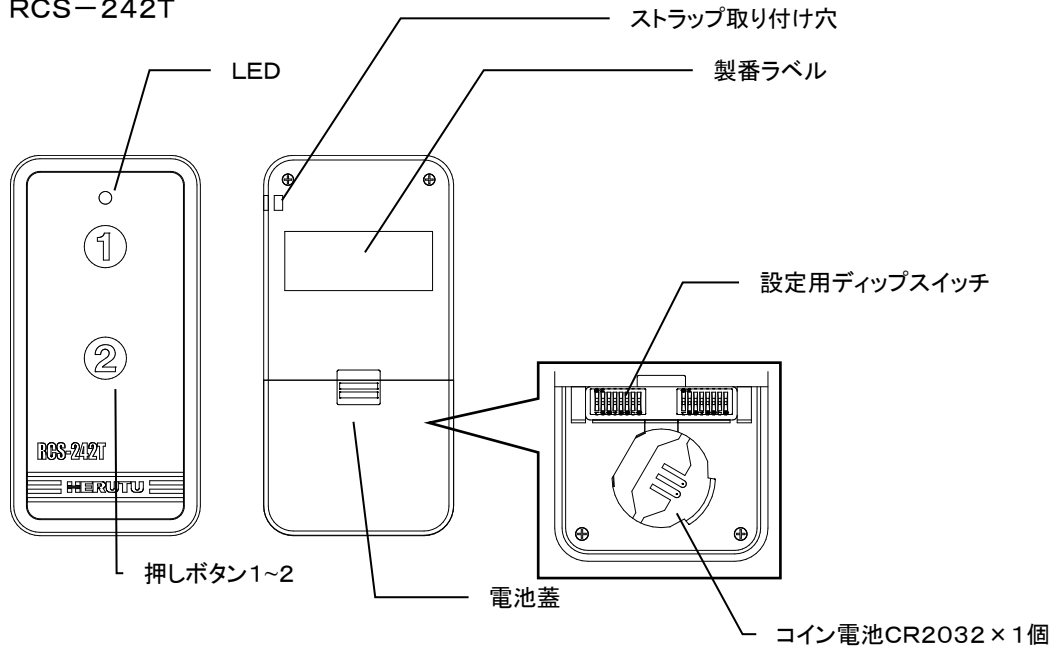


●8点式送信機 RC-248T

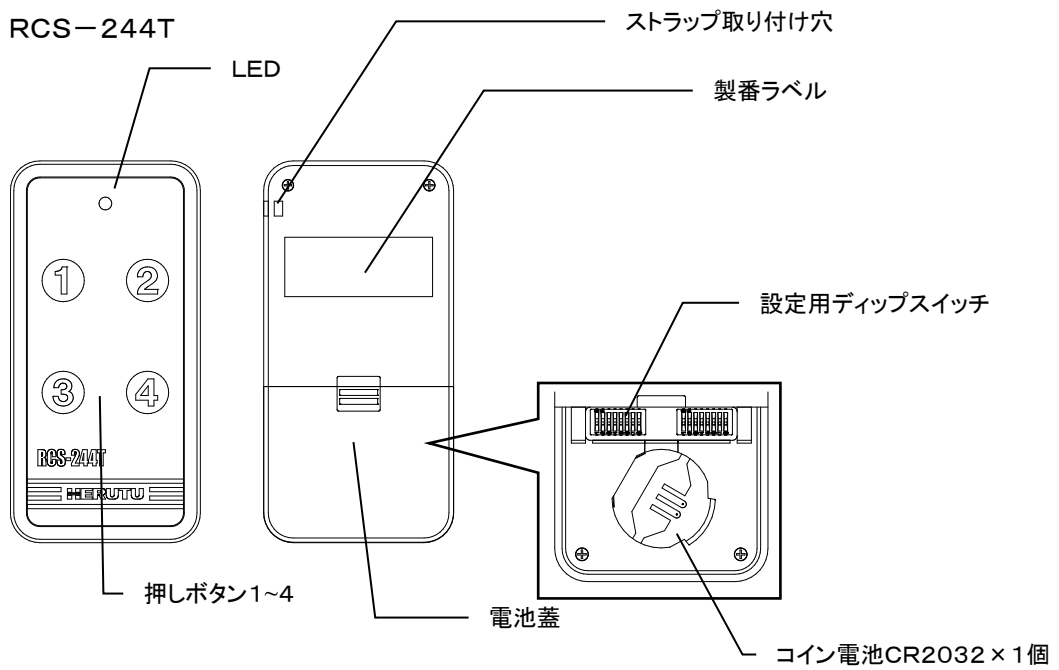


4-2. 小型送信機

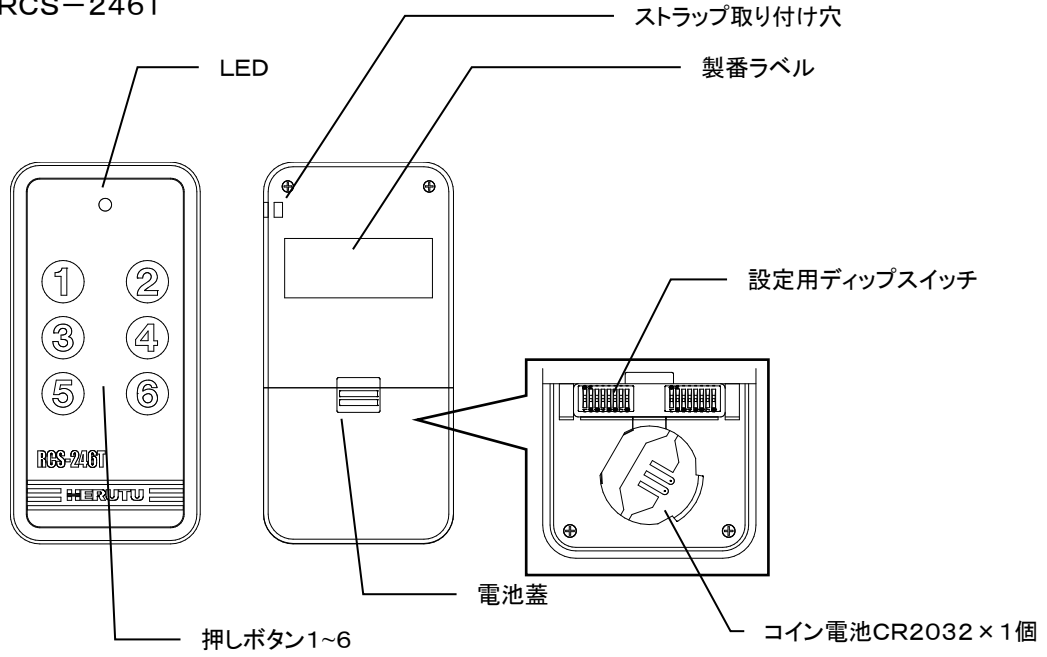
●2点式小型送信機 RCS-242T



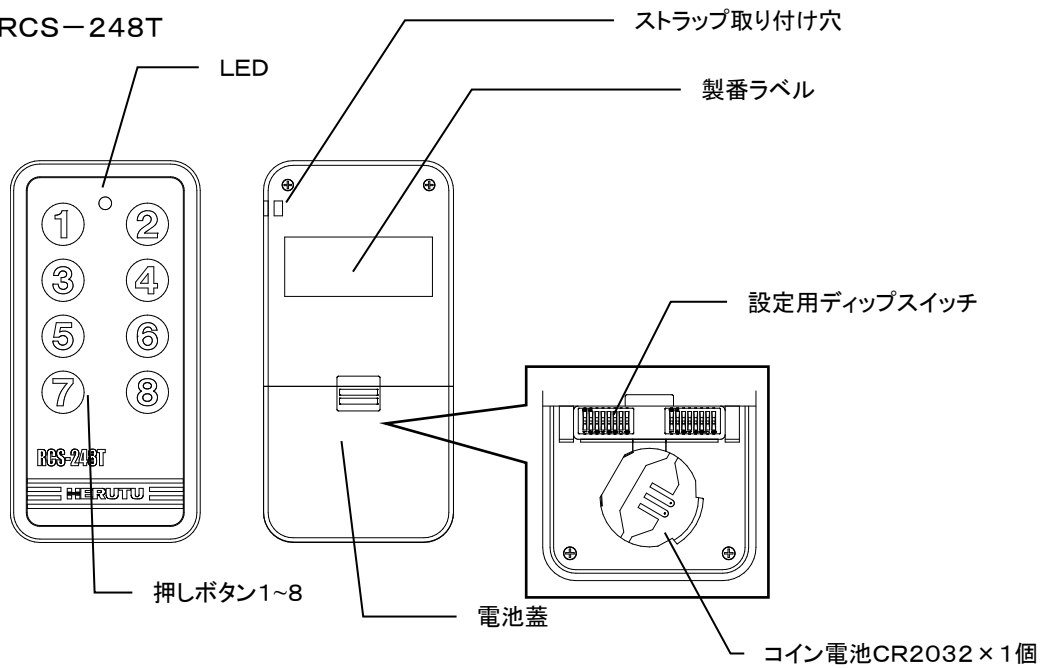
●4点式小型送信機 RCS-244T



●6点式小型送信機 RCS-246T

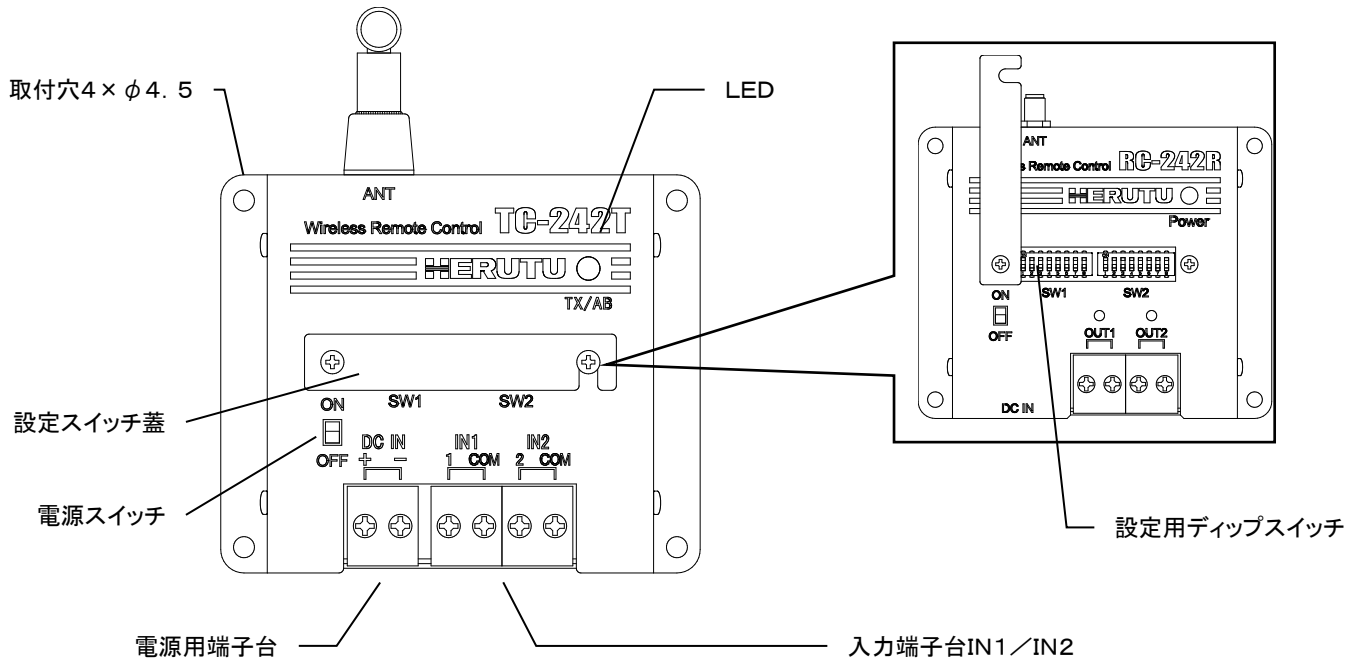


●8点式小型送信機 RCS-248T

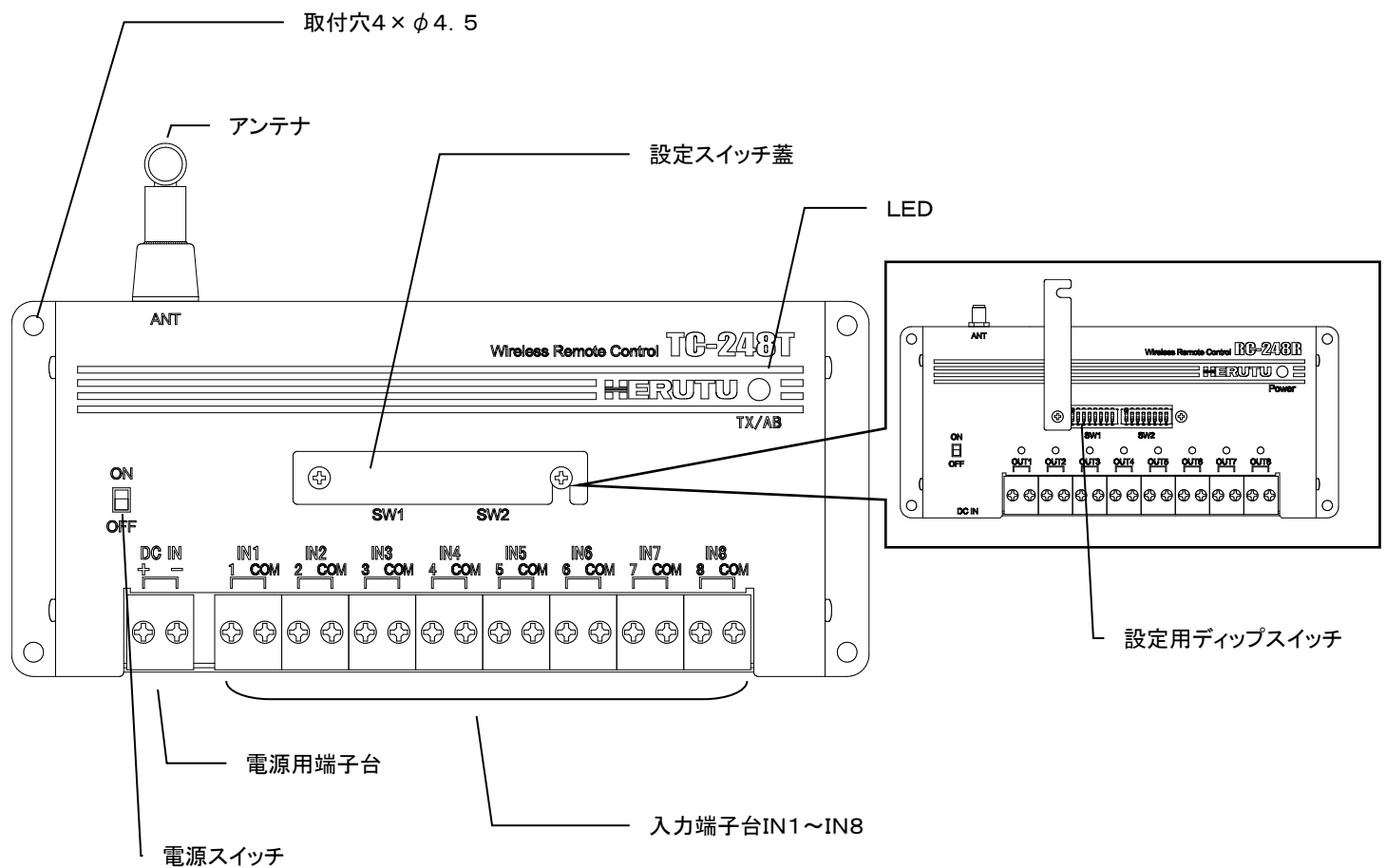


4-3. 接点送信機

●2点式接点送信機 TC-242T アンテナ

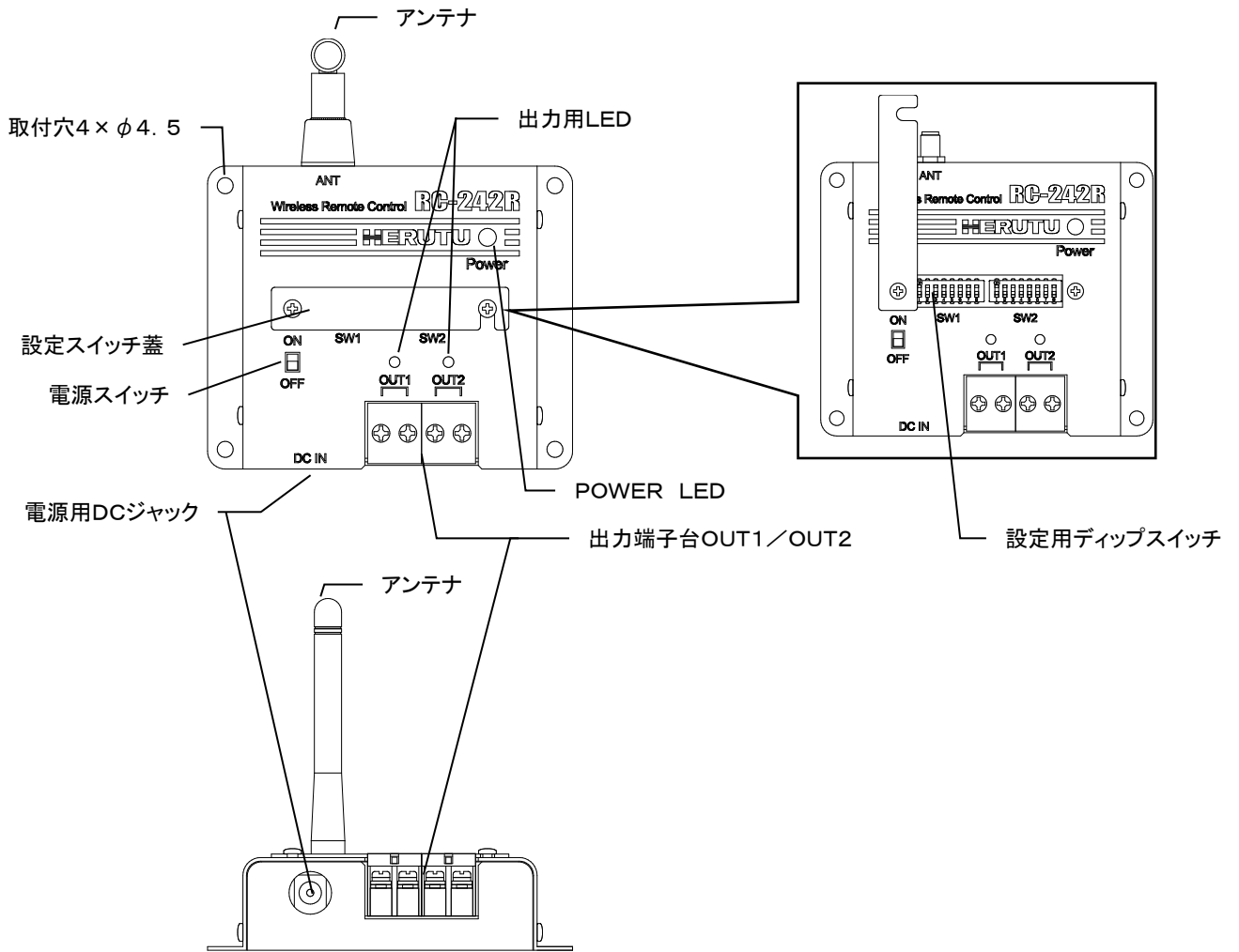


●8点式接点送信機 TC-248T

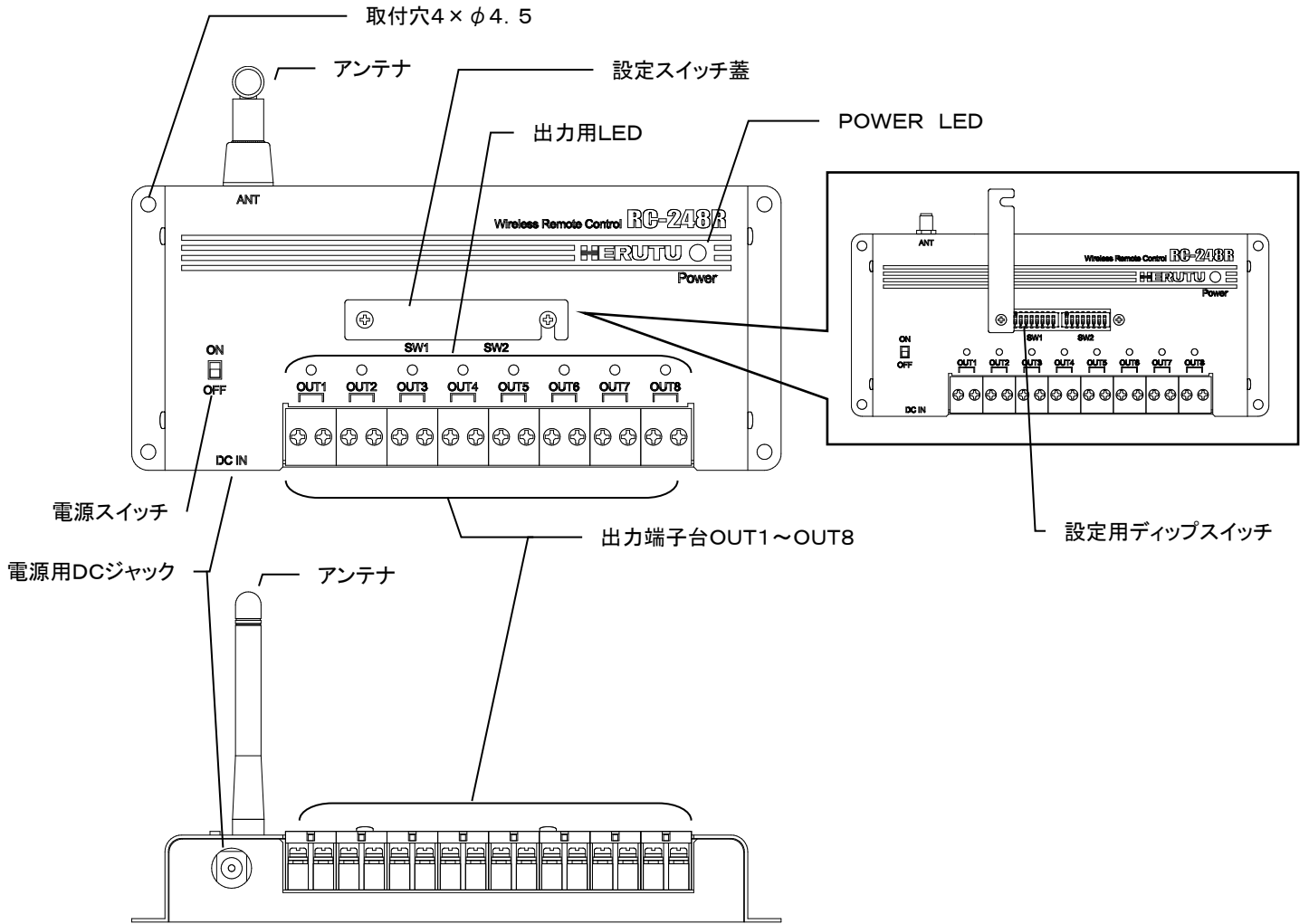


4-4. 受信機

●2点式受信機 RC-242R



●8点式受信機 RC-248R



5. 送信機の電池交換

5-1. 送信機

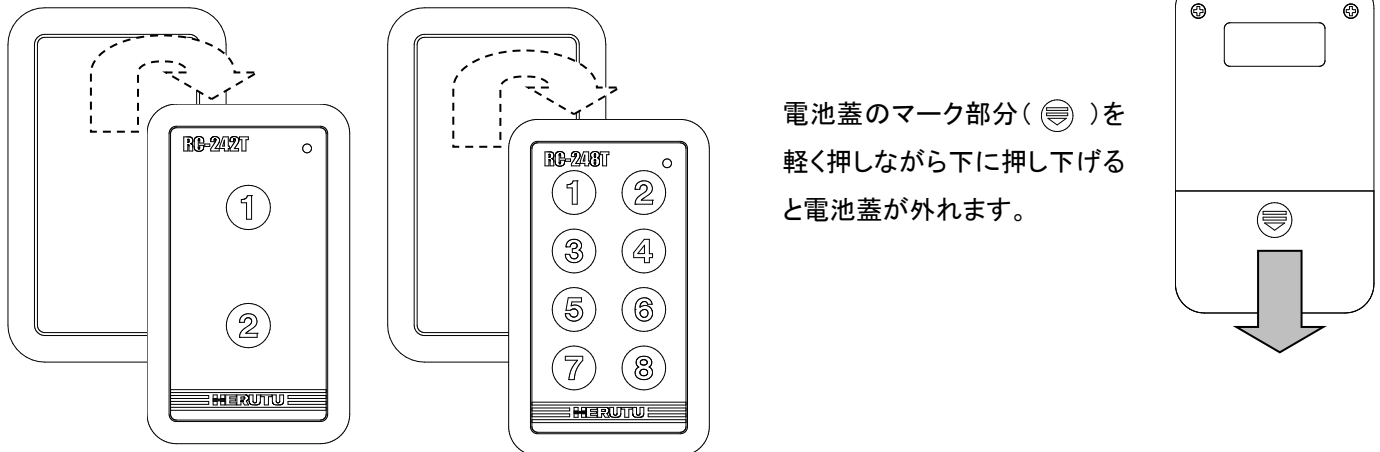
送信機RC-242TとRC-248Tは、単4形乾電池2本を使用します。

(出荷時に単4形アルカリ乾電池2本がセットされています。)

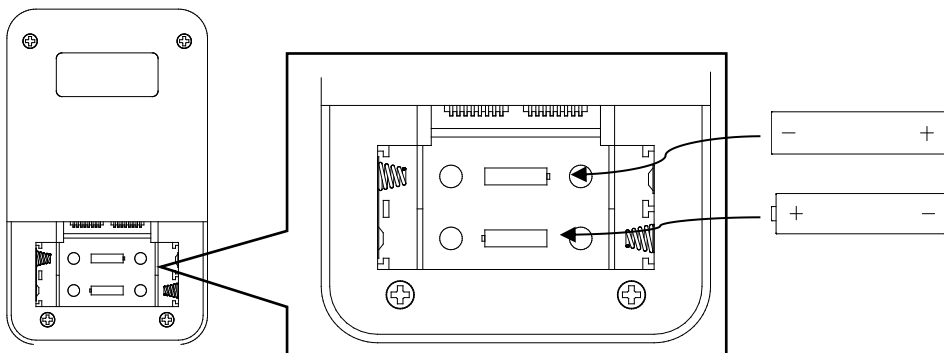
電池が一定電圧以下になると、押しボタンを押した際に赤色LEDが2回点滅し同時にブザーも2回鳴りますので、単4形乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

●電池の交換方法

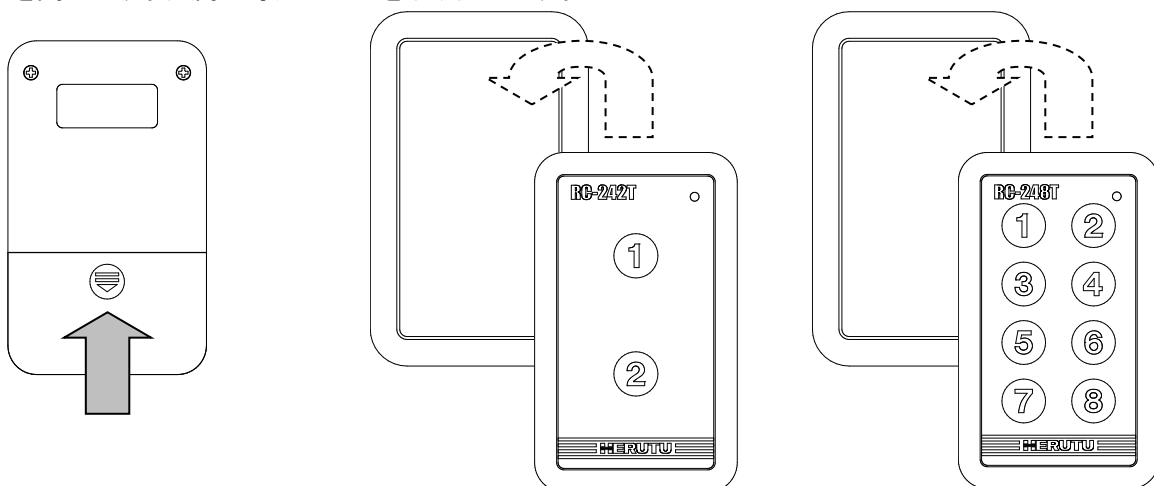
①送信機をカバーから外し、背面の電池蓋を外します。



②電池ケースの極性表示(-, +)に合わせて乾電池を入れます。



③電池蓋を閉めます。付属の専用カバーを取り付けます。



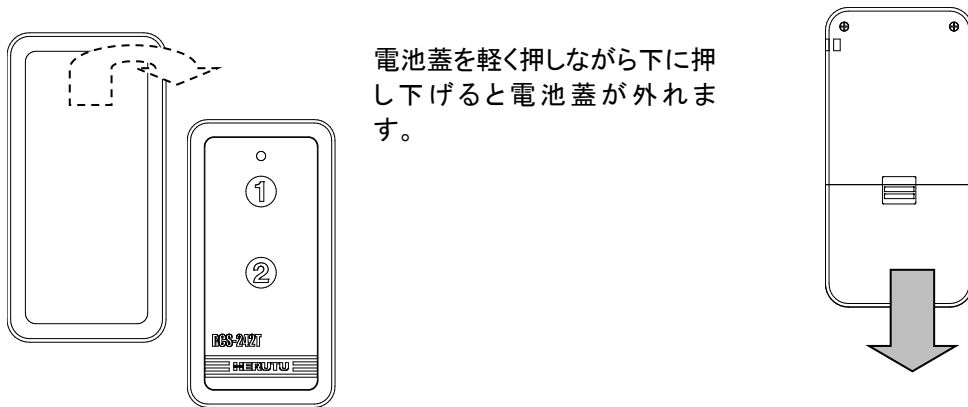
5-2. 小型送信機

小型送信機RCS-242T/RCS-244T/RCS-246T/RCS-248Tは、コイン電池CR2032×1個を使用します。(出荷時にコイン電池がセットされています。)

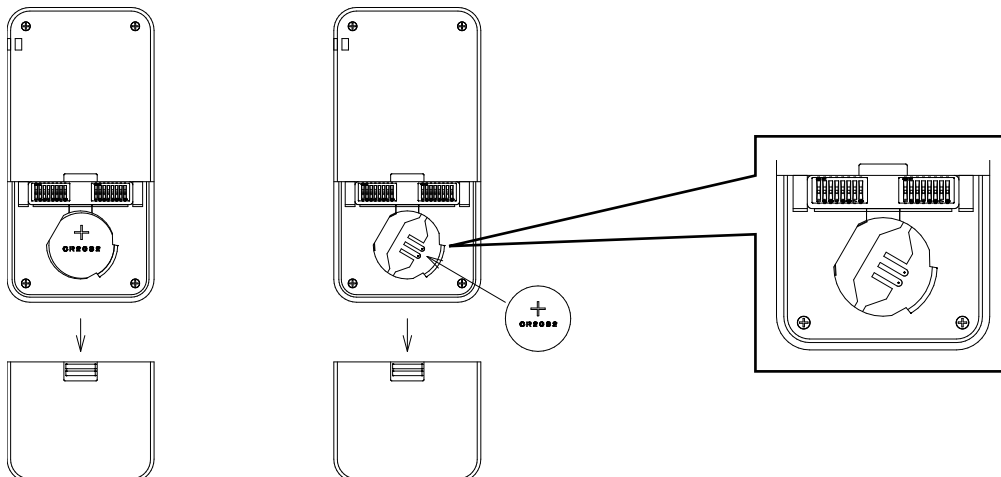
電池が一定電圧以下になると、押しボタンを押した際に赤色LEDが2回点滅し同時にブザーも2回鳴りますので、コイン電池を新しいものと交換してください。

●電池の交換方法

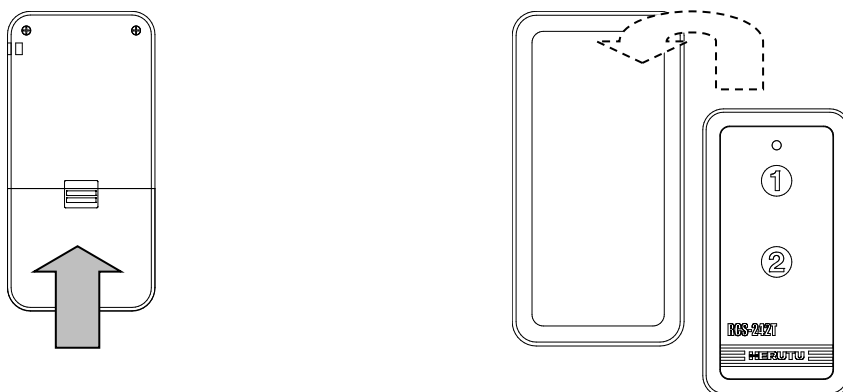
①送信機をカバーから外し、背面の電池蓋を外します。



②電池ケースよりコイン電池を外し、極性表示(-, +)に合わせて新しいコイン電池を入れます。



③電池蓋を閉めます。付属の専用カバーを取り付けます。



6. 設置

6-1. 受信機

- ①受信機は送信機から見通しが良く、電波を安定して受信できる位置に設置してください。
- ②アンテナは金属物と平行にならないように離して設置してください。
- ③付属のACアダプタを使用し、変動の少ない安定した電源(AC100V～AC240V)を供給してください。
- ④出力端子台に配線をしてください。

出力はリレー接点で、出力ONで各端子間が短絡状態となります。

接点定格負荷を超えた場合、内部回路が破損する場合がありますので十分ご注意ください。

端子台 M3(2極)	
定格負荷電圧	AC/DC30V
定格負荷電流	0.5A
接点構造/構成	MOS-FET/1a

受信機のアンテナは、アンテナ周囲に障害物がないように設置を行ってください。

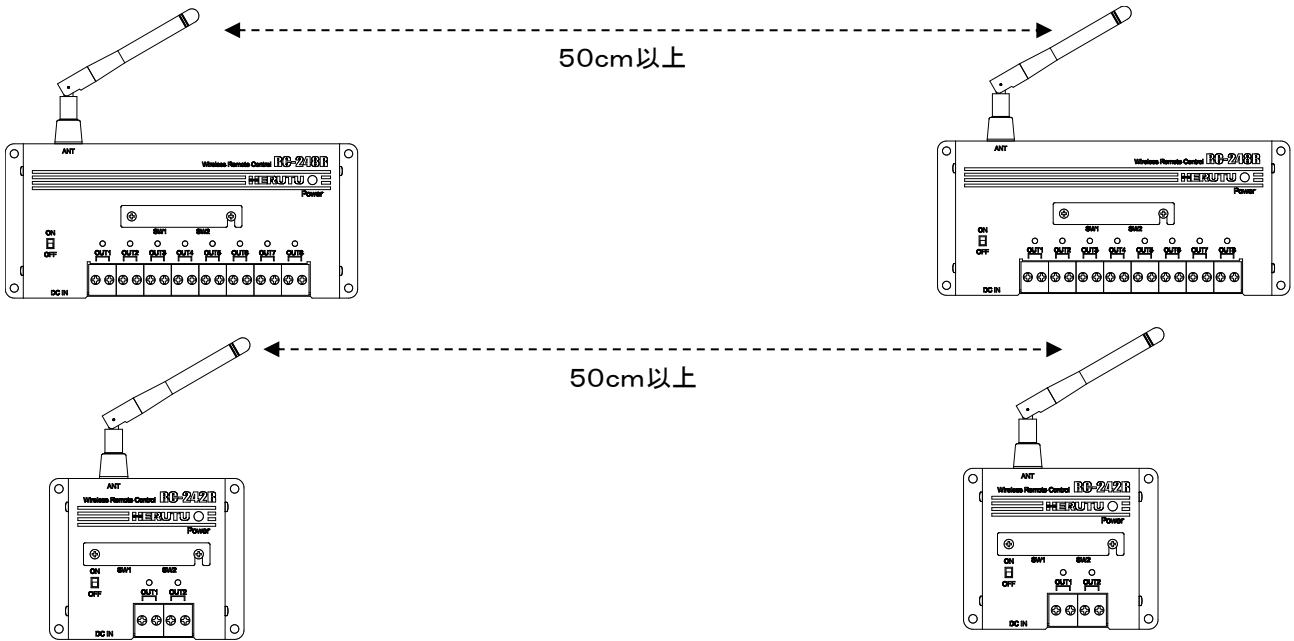


受信機のアンテナ部分が金属素材で覆われてしまうと通信距離が著しく短くなりますので、ご注意ください。

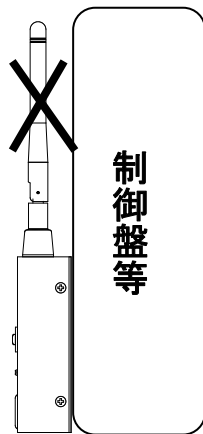
金属素材を含まない樹脂製のケースに受信機を内蔵する場合も通信ができることを確認後、設置していただくようにしてください。

また、1つの制御盤等に2台以上内蔵することは避けてください。

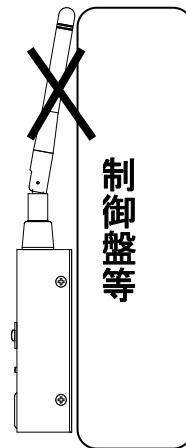
2台以上の受信機を並べて設置する場合は、少なくともアンテナ同士が50cm以上離れるように設置してください。



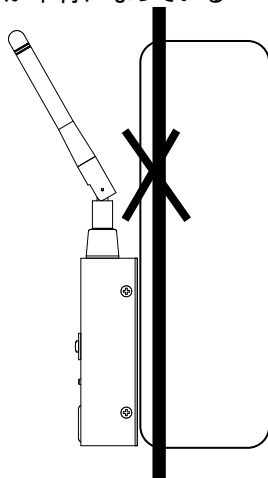
下記のような設置はしないでください。



背面の制御盤(金属物)とアンテナが平行になっている



アンテナが制御盤(金属物)に接触している



動力線のすぐ近くに設置される

6-2. 接点送信機

- ①送信機は受信機から見通しが良く、安定して通信できる位置に設置してください。
- ②アンテナは金属物と平行にならないように離して設置してください。
- ③電源入力端子台にDC12～24Vを接続してください。(端子台:M3ネジ 2極)

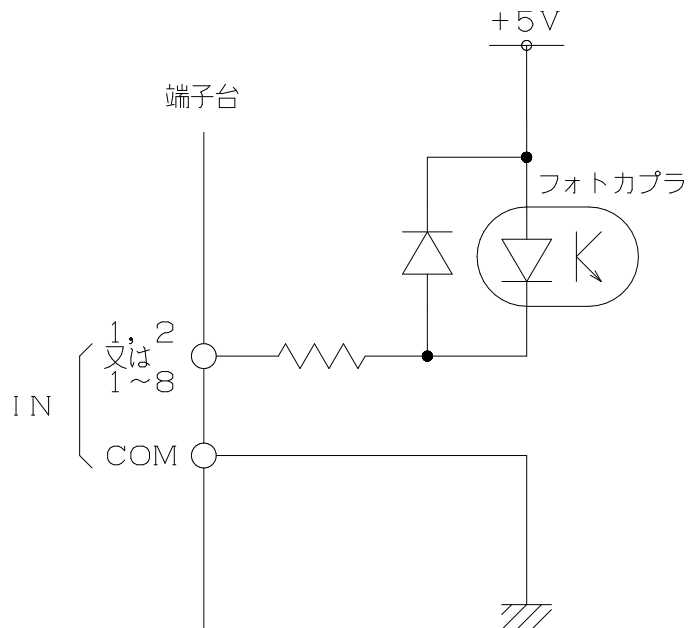
AC電源でご利用する場合は、有償オプションのACアダプタ「ADB24050-C」をご利用ください。

- ④入力端子台に無電圧接点入力を接続してください。(端子台:M3ネジ 2極)

* 入力端子台には「DC5V/20mA」が安定してON/OFFできる無電圧接点を接続してください。

入力信号は50ms以上としてください。また、次回の信号入力は前回の信号がOFFになってから200ms以上あけてください。

[入力回路]



7. 設定

本機は使用する機器構成により送信機と受信機にいくつかの設定を行う必要があります。

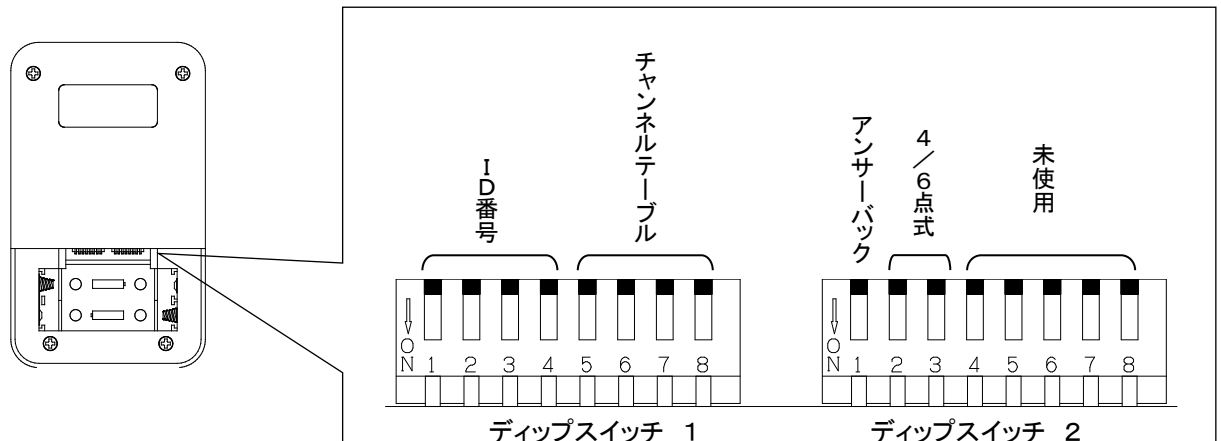
設定は送信機・受信機のディップスイッチで行います。

受信機と接点送信機の設定変更は必ず電源をOFFにして行ってください。電源ONのままでは設定は変更されません。

7-1. 送信機の設定項目

●送信機 RC-242T/RC-248T

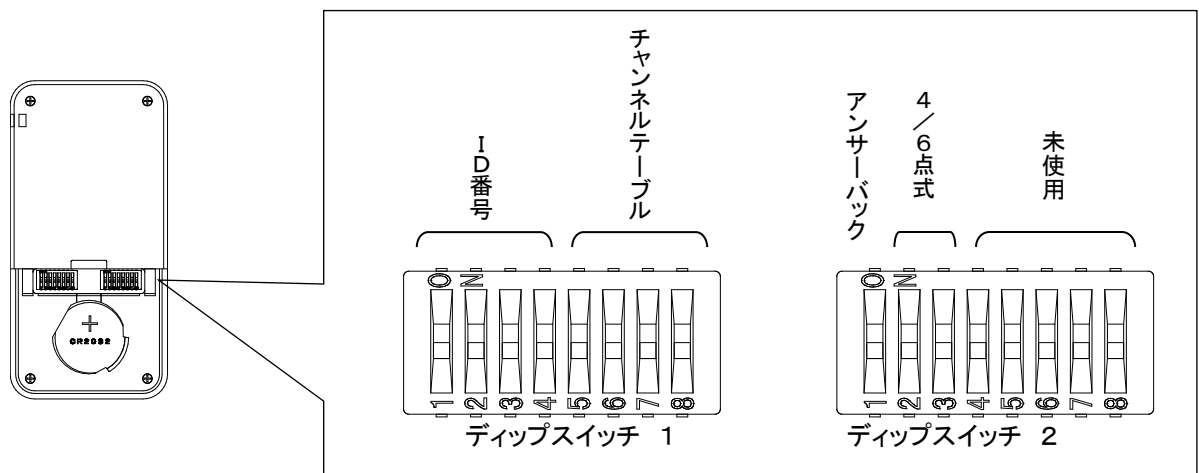
RC-242T/RC-248T 設定用ディップスイッチ



※ディップスイッチ下げるとONです。

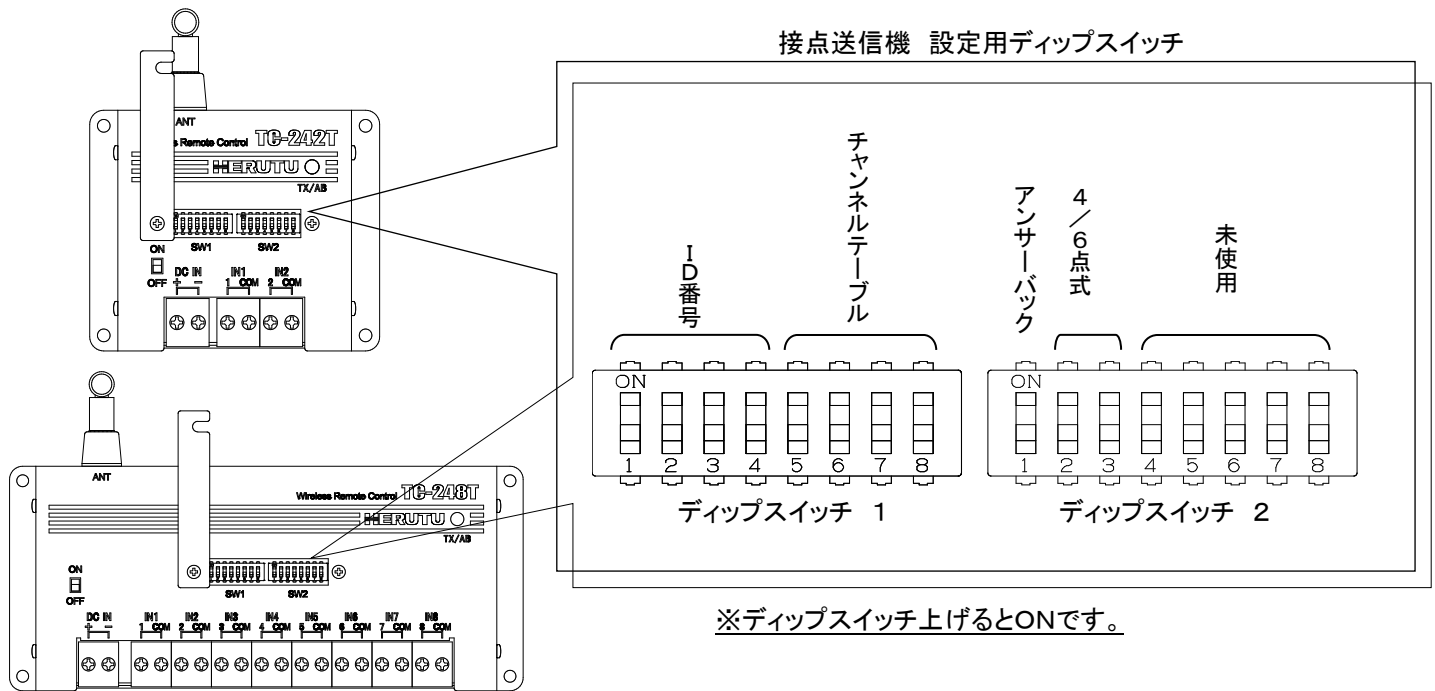
●小型送信機 RCS-242T/RCS-244T/RCS-246T/RCS-248T

RCS-242T/RCS-244T/RCS-246T/RCS-248T 設定用ディップスイッチ



※ディップスイッチ上げるとONです。

●接点送信機 TC-242T/TC-248T



■ID番号

1～16のいずれかのID番号を設定できます。

【送信機1台 対 受信機1台】【送信機1台 対 受信機N台】で使用する場合には、受信機と同じID番号を設定して使用します。【送信機N台 対 受信機1台】で使用する場合には、ID番号により出力する場所(OUT1～OUT8)を割り付けます。

【送信機の設定】

ID 番号	ディップスイッチ1 1～4				ID 番号	ディップスイッチ1 1～4			
	ON	OFF	OFF	OFF		ON	OFF	OFF	ON
1	ON	OFF	OFF	OFF	9	ON	OFF	OFF	ON
2	OFF	ON	OFF	OFF	10	OFF	ON	OFF	ON
3	ON	ON	OFF	OFF	11	ON	ON	OFF	ON
4	OFF	OFF	ON	OFF	12	OFF	OFF	ON	ON
5	ON	OFF	ON	OFF	13	ON	OFF	ON	ON
6	OFF	ON	ON	OFF	14	OFF	ON	ON	ON
7	ON	ON	ON	OFF	15	ON	ON	ON	ON
8	OFF	OFF	OFF	ON	16	OFF	OFF	OFF	OFF

<注意>

ディップスイッチを設定する時は精密ドライバーのマイナスタイプ等を使用して行ってください。ディップスイッチは小型タイプのため、壊れやすい部品です。無理に力を加えて作業を行なうと破損の恐れがありますのでご注意ください。

出荷時設定

特別指示が無い場合、ID番号は“1”に設定されています。

■チャンネルテーブル

1～16のいずれかのチャンネルグループを設定できます。

1つのチャンネルテーブルにはそれぞれ4つの周波数が割り当てられています。送信機と受信機はチャンネルテーブル内の4つの周波数から随時自動選択して通信を行います。

【送信機1台 対 受信機1台】で使用する場合も、【送信機N台 対 受信機1台】【送信機1台 対 受信機N台】で使用する場合も、送信機と受信機は同じチャンネルテーブルに設定します。

【送信機の設定】

チャンネル テーブル	ディップスイッチ1 5～8				チャンネル テーブル	ディップスイッチ1 5～8			
	ON	OFF	OFF	OFF		ON	OFF	OFF	ON
1	ON	OFF	OFF	OFF	9	ON	OFF	OFF	ON
2	OFF	ON	OFF	OFF	10	OFF	ON	OFF	ON
3	ON	ON	OFF	OFF	11	ON	ON	OFF	ON
4	OFF	OFF	ON	OFF	12	OFF	OFF	ON	ON
5	ON	OFF	ON	OFF	13	ON	OFF	ON	ON
6	OFF	ON	ON	OFF	14	OFF	ON	ON	ON
7	ON	ON	ON	OFF	15	ON	ON	ON	ON
8	OFF	OFF	OFF	ON	16	OFF	OFF	OFF	OFF

出荷時設定

特別指示が無い場合、チャンネルテーブルは“1”に設定されています。

■アンサーバック

受信機からのアンサーバックを受けられる双方向通信仕様と受信機からのアンサーバックを受けない片方向通信仕様のいずれかを設定できます。送信機の動作に対して受信機の動作が直接確認できないような状況で、アンサーバックを”ON”設定にすることにより、送信機のLED点灯状況で通信の確認ができます。

【送信機の設定】

アンサーバック	ディップスイッチ2 1
アンサーバックあり	ON
アンサーバックなし	OFF

出荷時設定

特別指示が無い場合、アンサーバックは“なし”に設定されています。

注意

1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定して下さい。

■4／6点式設定

本設定は出荷時に設定されていますのでお客様で設定変更をする必要はありません。
間違って設定を変更された場合等に確認用としてご覧ください。

【送信機の設定】

4点／6点式	ディップスイッチ2 2	ディップスイッチ2 3
4点式	ON	OFF
6点式	OFF	ON

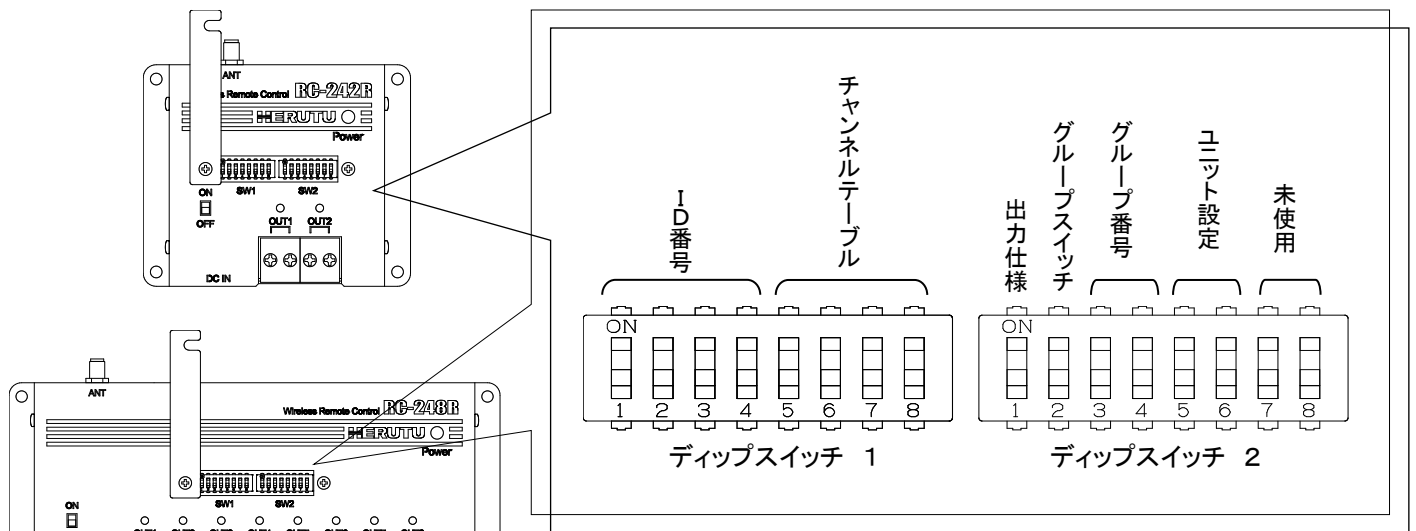
出荷時設定

4点式送信機(RCS-244T)及び6点式送信機(RCS-246T)として出荷する場合に設定されています。

2点式／8点式送信機として出荷する場合はOFF／OFFに設定されています。

7-2. 受信機の設定項目

受信機 設定用ディップスイッチ



※受信機のディップスイッチ上げるとONです。
(送信機は下げるとONです。間違えないようにご注意ください。)

■ID番号

1～16のいずれかのID番号を設定できます。

【送信機1台 対 受信機1台】【送信機1台 対 受信機N台】で使用する場合には、送信機と同じID番号を設定して使用します。【送信機N台 対 受信機1台】で使用する場合には、ID番号は未使用となります。

【受信機の設定】

ID 番号	ディップスイッチ1 1～4				ID 番号	ディップスイッチ1 1～4			
	ON	OFF	OFF	OFF		ON	OFF	OFF	ON
1	ON	OFF	OFF	OFF	9	ON	OFF	OFF	ON
2	OFF	ON	OFF	OFF	10	OFF	ON	OFF	ON
3	ON	ON	OFF	OFF	11	ON	ON	OFF	ON
4	OFF	OFF	ON	OFF	12	OFF	OFF	ON	ON
5	ON	OFF	ON	OFF	13	ON	OFF	ON	ON
6	OFF	ON	ON	OFF	14	OFF	ON	ON	ON
7	ON	ON	ON	OFF	15	ON	ON	ON	ON
8	OFF	OFF	OFF	ON	16	OFF	OFF	OFF	OFF

<注意>

ディップスイッチを設定する時は精密ドライバーのマイナスタイプ等を使用してください。
ディップスイッチは小型タイプのため、壊れやすい部品です。無理に力を加えて作業を行なうと破損の恐れがありますのでご注意ください。

出荷時設定

特別指示が無い場合、ID番号は“1”に設定されています。

■チャンネルテーブル

1～16のいずれかのチャンネルグループを設定できます。

1つのチャンネルテーブルにはそれぞれ4つの周波数が割り当てられています。送信機と受信機はチャンネルテーブル内の4つの周波数から随時自動選択して通信を行います。

【送信機1台 対 受信機1台】で使用する場合も、【送信機N台 対 受信機1台】【送信機1台 対 受信機N台】で使用する場合も、送信機と受信機は同じチャンネルテーブルにする必要があります。

【受信機の設定】

チャンネル テーブル	ディップスイッチ1 5～8				チャンネル テーブル	ディップスイッチ1 5～8			
	ON	OFF	OFF	OFF		ON	OFF	OFF	ON
1	ON	OFF	OFF	OFF	9	ON	OFF	OFF	ON
2	OFF	ON	OFF	OFF	10	OFF	ON	OFF	ON
3	ON	ON	OFF	OFF	11	ON	ON	OFF	ON
4	OFF	OFF	ON	OFF	12	OFF	OFF	ON	ON
5	ON	OFF	ON	OFF	13	ON	OFF	ON	ON
6	OFF	ON	ON	OFF	14	OFF	ON	ON	ON
7	ON	ON	ON	OFF	15	ON	ON	ON	ON
8	OFF	OFF	OFF	ON	16	OFF	OFF	OFF	OFF

出荷時設定

特別指示が無い場合、チャンネルテーブルは“1”に設定されています。

■出力仕様

受信機からの出力をスルー出力／ラッチ出力のいずれかに設定できます。

出力仕様は受信機のディップスイッチで設定します。

【受信機の設定】

出力仕様	ディップスイッチ2 1
スルー出力	ON
ラッチ出力	OFF

出荷時設定

特別指示が無い場合、出力仕様は“ラッチ出力”に設定されています。

■グループスイッチ

送信機N台と受信機1台で使用する場合に本スイッチを“ON”に設定します。

【送信機1台 対 受信機1台】【送信機1台 対 受信機N台】で使用する場合は、本スイッチは“OFF”に設定します。

【受信機の設定】

グループスイッチ	ディップスイッチ2 2
グループスイッチON	ON
グループスイッチOFF	OFF

出荷時設定

特別指示が無い場合、グループスイッチは“OFF”に設定されています。

■グループ番号

送信機N台と受信機1台で使用する場合に1～4のいずれかのグループに設定します。

(【送信機1台 対 受信機1台】【送信機1台 対 受信機N台】で使用する場合は、グループ設定は不要です。)

グループを使用する場合(送信機N台と受信機1台で使用する場合は、グループスイッチをONにします。

【受信機の設定】

グループ番号	ディップスイッチ2 3	ディップスイッチ2 4
1	ON	OFF
2	OFF	ON
3	ON	ON
4	OFF	OFF

※出力仕様をラッチ出力で使用する場合には、グループ番号は“1”と“2”のみ使用します。“3”と“4”は未使用となります。

出荷時設定

特別指示が無い場合、グループ番号はグループスイッチ設定が“OFF”に設定されているため、無効となります。

■ユニット設定

送信機1台と受信機N台で使用する場合にユニット設定A～Dのいずれかに設定します。
 ユニット設定をすることにより、送信機の中のボタン(入力)に対応するか設定します。

ユニット設定A:送信機のボタン(入力)1, 2に対応

ユニット設定B:送信機のボタン(入力)3, 4に対応

ユニット設定C:送信機のボタン(入力)5, 6に対応

ユニット設定D:送信機のボタン(入力)7, 8に対応

(送信機1台 対 受信機1台で使用する場合は、ユニット設定はAに設定します。)

ユニット設定を使用する場合(送信機1台と受信機N台で使用する場合は、グループスイッチは必ずOFFにします。
グループスイッチがONの場合、ユニット設定は無効となります。

【受信機の設定】

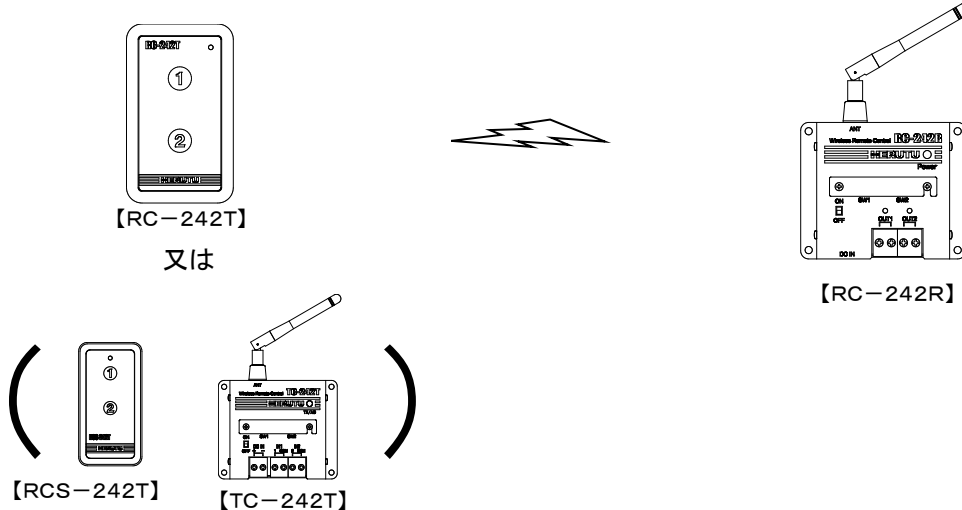
ユニット 設定	ディップスイッチ2 5	ディップスイッチ2 6
A	OFF	OFF
B	ON	OFF
C	OFF	ON
D	ON	ON

出荷時設定

特別指示が無い場合、ユニット設定は“A”に設定されています。

7-3. 機器構成別の設定内容

7-3-1. 【2点式送信機 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 1台】



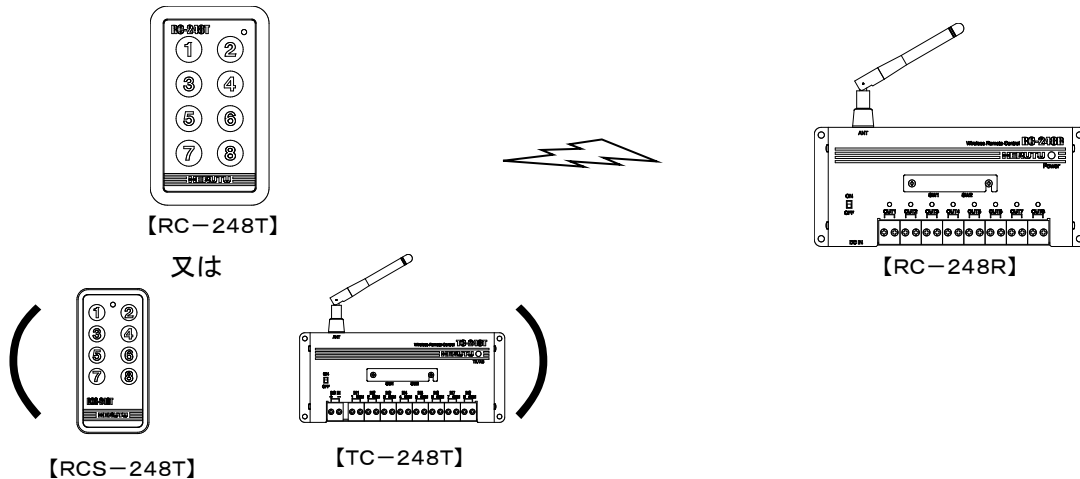
送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	2点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON: アンサーバックあり OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	ALL OFF
	4~8	未使用	ALL OFF

受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-242R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5~6	ユニット設定	ALL OFF (A)
	7~8	未使用	ALL OFF

7-3-2. 【8点式送信機 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



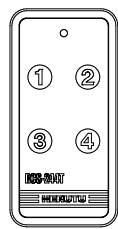
送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	8点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON: アンサーバックあり OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	ALL OFF
	4~8	未使用	ALL OFF

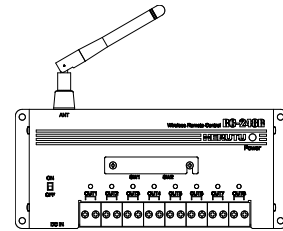
受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-248R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5~6	ユニット設定	ALL OFF (A)
	7~8	未使用	ALL OFF

7-3-3. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



【RC-244T】



【RC-248R】

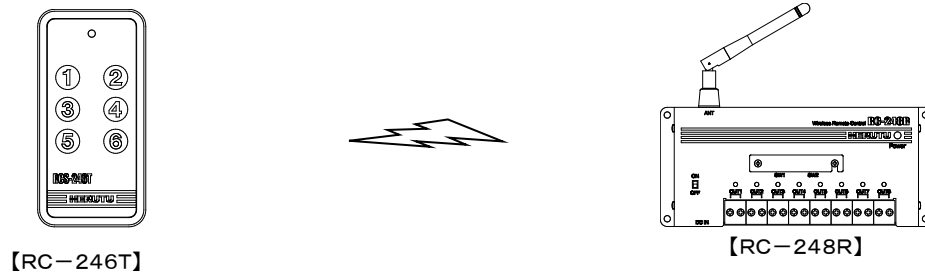
送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	4点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON: アンサーバックあり OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	4点式に設定(出荷時設定済み) 2: ON / 3: OFF
	4~8	未使用	ALL OFF

受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-248R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5~6	ユニット設定	ALL OFF (A)
	7~8	未使用	ALL OFF

7-3-4. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



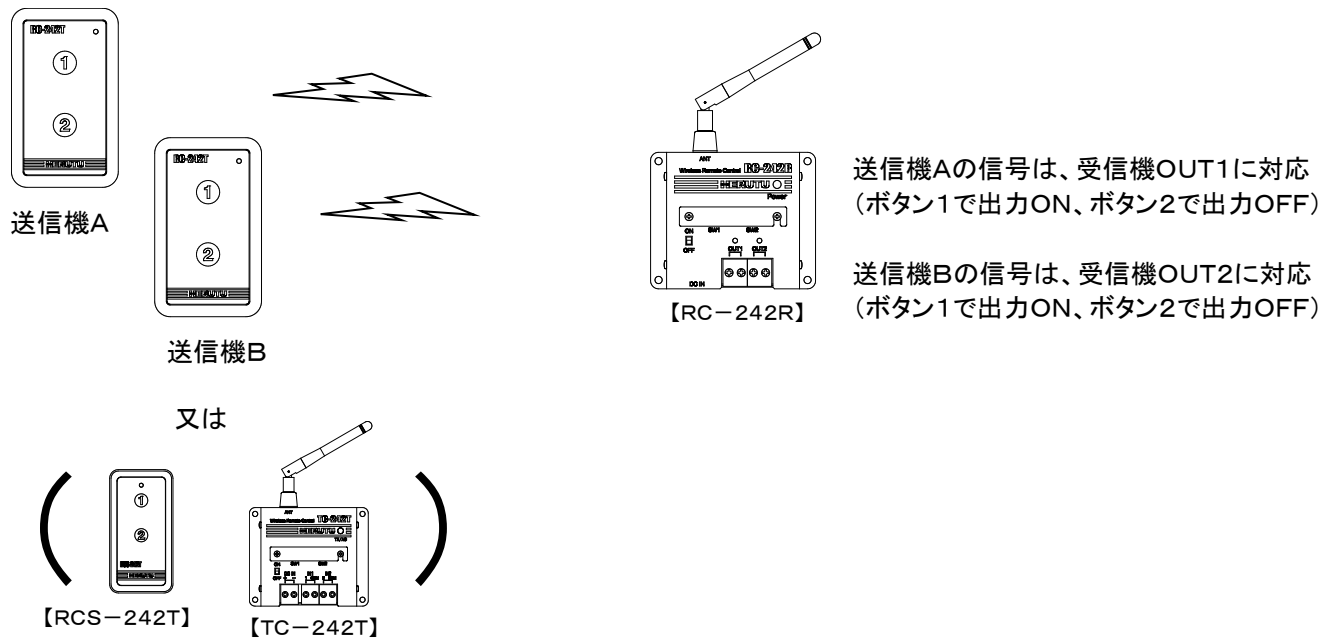
送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	6点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON: アンサーバックあり OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	6点式に設定(出荷時設定済み) 2: OFF / 3: ON
	4~8	未使用	ALL OFF

受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-248R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5~6	ユニット設定	ALL OFF (A)
	7~8	未使用	ALL OFF

7-3-5. 【2点式送信機 2台】 対 【2点式受信機RC-242R 1台】 ※ラッチ出力のみ



送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	2点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	別表の受信機のグループに対応した設定にしてください
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON: アンサーバックあり OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	ALL OFF
	4~8	未使用	ALL OFF

受信機の設定

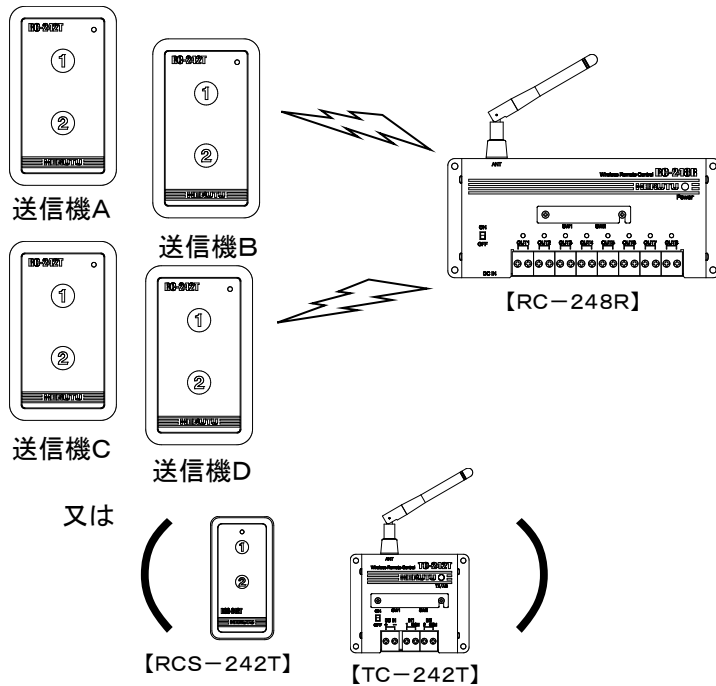
ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-242R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	未使用 設定は無効となります。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	OFF (ラッチ出力)
	2	グループスイッチ	ON
	3	グループ番号	1、2のいずれかに設定してください。 ※グループ番号により受信できる送信機のID番号が決定します。
	4		
	5~6	ユニット設定	ALL OFF (A)
7~8	未使用	ALL OFF	

受信機のグループ番号に対応する出力と送信機のID番号

グループ番号	送信機 ID番号	送信機押しボタン	受信機RC-242R 出力
1	1	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
1	2	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF
2	9	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
2	10	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF

※出力仕様をラッチ出力で使用する場合には、グループ番号は“1”と“2”のみ使用します。“3”と“4”は未使用となります。

7-3-6. 【2点式送信機 4台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



■スルー出力の場合

送信機Aの信号は、受信機OUT1／OUT2に対応
(ボタン1でOUT1、ボタン2でOUT2が押している間出力ON)
送信機Bの信号は、受信機OUT3／OUT4に対応
(ボタン1でOUT3、ボタン2でOUT4が押している間出力ON)
送信機Cの信号は、受信機OUT5／OUT6に対応
(ボタン1でOUT5、ボタン2でOUT6が押している間出力ON)
送信機Dの信号は、受信機OUT7／OUT8に対応
(ボタン1でOUT7、ボタン2でOUT8が押している間出力ON)

※ラッチ出力については次項をお読みください。

送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	2点式送信機
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	別表の受信機のグループに対応した設定にしてください
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON: アンサーバックあり OFF: アンサーバックなし
	2～3	4点／6点式	ALL OFF
	4～8	未使用	ALL OFF

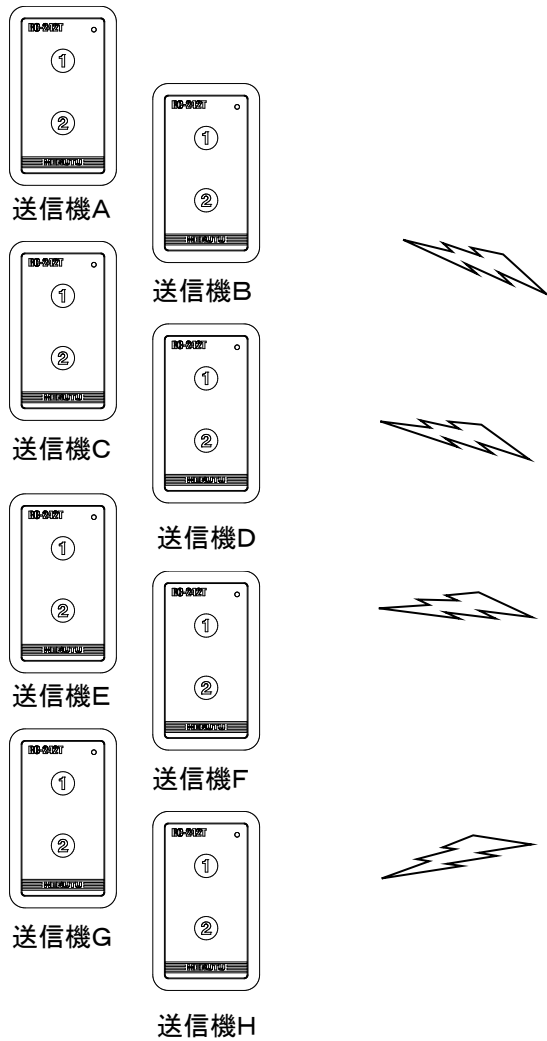
受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-248R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	未使用 設定は無効となります。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON (スルー出力)
	2	グループスイッチ	ON
	3	グループ番号	1～4のいずれかに設定してください。 ※グループ番号により受信できる送信機のID番号が決定します。
	4		
	5～6	ユニット設定	ALL OFF (A)
7～8	未使用	ALL OFF	

受信機のグループ番号に対応する出力と送信機のID番号

受信機の グループ番号	送信機 ID番号	送信機押しボタン	受信機RC-248R 出力
1	1	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
1	2	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
1	3	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
1	4	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON
2	5	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
2	6	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
2	7	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
2	8	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON
3	9	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
3	10	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
3	11	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
3	12	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON
4	13	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
4	14	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
4	15	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
4	16	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON

7-3-7. 【2点式送信機 8台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】 ※ラッチ出力のみ



■ラッチ出力の場合

送信機Aの信号は、受信機OUT1に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機Bの信号は、受信機OUT2に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機Cの信号は、受信機OUT3に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機Dの信号は、受信機OUT4に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機Eの信号は、受信機OUT5に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機Fの信号は、受信機OUT6に対応

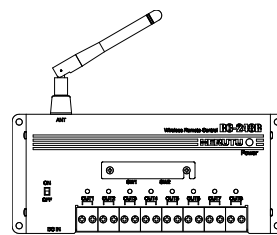
(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機Gの信号は、受信機OUT7に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

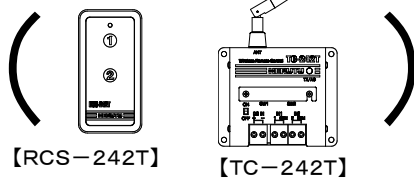
送信機Hの信号は、受信機OUT8に対応

(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)



【RC-248R】

又は



送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	2点式送信機
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	別表の受信機のグループに対応した設定にしてください
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON:アンサーバックあり OFF:アンサーバックなし
	2～3	4点/6点式	ALL OFF
	4～8	未使用	ALL OFF

受信機の設定

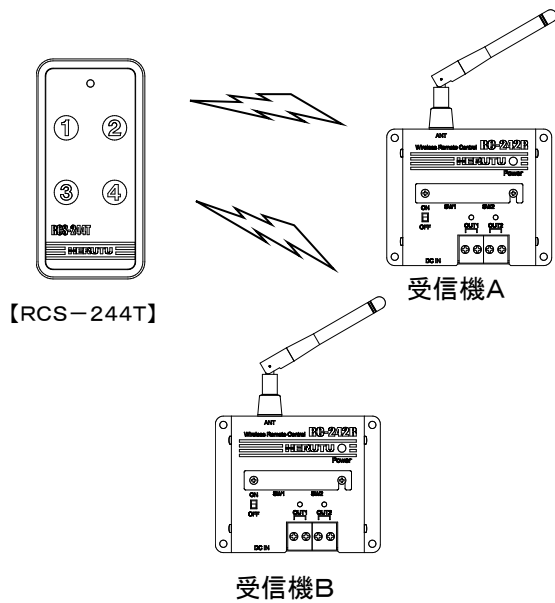
ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-248R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	未使用 設定は無効となります。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	OFF (ラッチ出力)
	2	グループスイッチ	ON
	3	グループ番号	1、2のいずれかに設定してください。 ※グループ番号により受信できる 送信機のID番号が決定します。
	4		
	5～6	ユニット設定	ALL OFF (A)
	7～8	未使用	ALL OFF

受信機のグループ番号に対応する出力と送信機のID番号

受信機の グループ番号	送信機 ID番号	送信機押しボタン	受信機RC-248R 出力
1	1	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
1	2	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF
1	3	①	OUT3 出力ON
		②	OUT3 出力OFF
1	4	①	OUT4 出力ON
		②	OUT4 出力OFF
1	5	①	OUT5 出力ON
		②	OUT5 出力OFF
1	6	①	OUT6 出力ON
		②	OUT6 出力OFF
1	7	①	OUT7 出力ON
		②	OUT7 出力OFF
1	8	①	OUT8 出力ON
		②	OUT8 出力OFF
2	9	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
2	10	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF
2	11	①	OUT3 出力ON
		②	OUT3 出力OFF
2	12	①	OUT4 出力ON
		②	OUT4 出力OFF
2	13	①	OUT5 出力ON
		②	OUT5 出力OFF
2	14	①	OUT6 出力ON
		②	OUT6 出力OFF
2	15	①	OUT7 出力ON
		②	OUT7 出力OFF
2	16	①	OUT8 出力ON
		②	OUT8 出力OFF

※出力仕様をラッチ出力で使用する場合には、グループ番号は“1”と“2”のみ使用します。“3”と“4”は未使用となります。

7-3-8. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 2台】



■ラッチ出力の場合

送信機①②の信号は、受信機Aに対応
(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)

送信機③④の信号は、受信機Bに対応
(ボタン3で出力ON、ボタン4で出力OFF)

■スルー出力の場合

送信機①②の信号は、受信機Aに対応
(ボタン1でOUT1、ボタン2でOUT2が押ししている間出力ON)

送信機③④の信号は、受信機Bに対応
(ボタン3でOUT1、ボタン4でOUT2が押ししている間出力ON)

送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	4点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	4点式に設定(出荷時設定済み) 2: ON/3: OFF
	4~8	未使用	ALL OFF

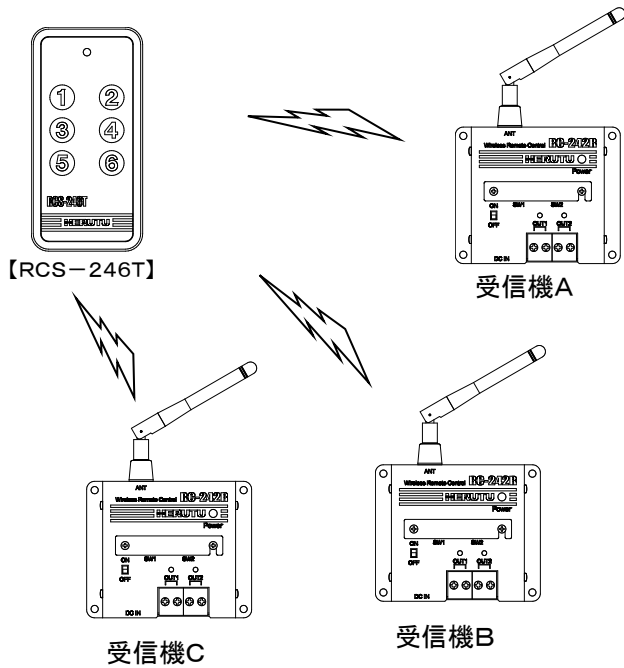
受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-242R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3 4	グループ番号	OFF
			OFF
	5~6	ユニット設定	受信機A→ユニット設定A 受信機B→ユニット設定B
	7~8	未使用	ALL OFF

注意

1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定して下さい。

7-3-9. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 3台】



■ラッチ出力の場合

送信機①②の信号は、受信機Aに対応
 (ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)
 送信機③④の信号は、受信機Bに対応
 (ボタン3で出力ON、ボタン4で出力OFF)
 送信機⑤⑥の信号は、受信機Cに対応
 (ボタン5で出力ON、ボタン6で出力OFF)

■スルー出力の場合

送信機①②の信号は、受信機Aに対応
 (ボタン1でOUT1、ボタン2でOUT2が押している間出力ON)
 送信機③④の信号は、受信機Bに対応
 (ボタン3でOUT1、ボタン4でOUT2が押している間出力ON)
 送信機⑤⑥の信号は、受信機Cに対応
 (ボタン5でOUT1、ボタン6でOUT2が押している間出力ON)

送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	6点式送信機
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	OFF: アンサーバックなし
	2~3	4点/6点式	6点式に設定(出荷時設定済み) 2: OFF / 3: ON
	4~8	未使用	ALL OFF

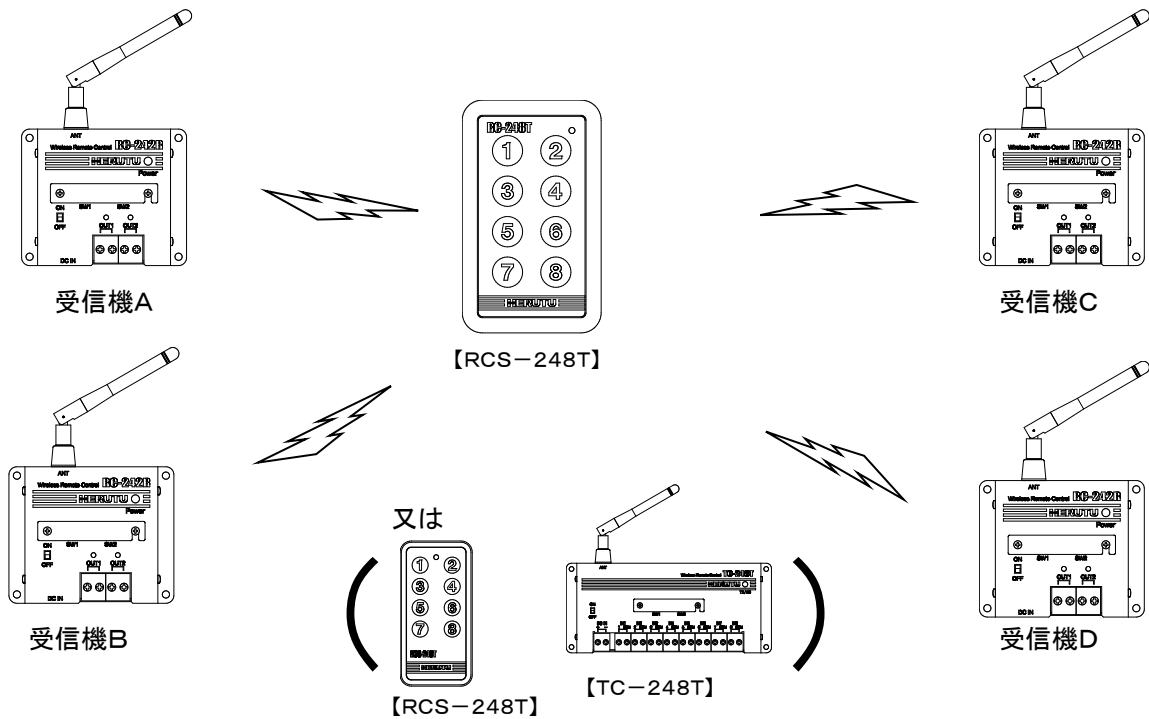
受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-242R
ディップスイッチ1	1~4	ID番号	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5~8	チャンネルテーブル	1~16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5~6	ユニット設定	受信機A→ユニット設定A 受信機B→ユニット設定B 受信機C→ユニット設定C
7~8	未使用	ALL OFF	

注意

1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定して下さい。

7-3-10. 【8点式送信機 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 4台】



■ラッチ出力の場合

- 送信機①②の信号は、受信機Aに対応
(ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF)
- 送信機③④の信号は、受信機Bに対応
(ボタン3で出力ON、ボタン4で出力OFF)
- 送信機⑤⑥の信号は、受信機Cに対応
(ボタン5で出力ON、ボタン6で出力OFF)
- 送信機⑦⑧の信号は、受信機Dに対応
(ボタン7で出力ON、ボタン8で出力OFF)

■スルー出力の場合

- 送信機①②の信号は、受信機Aに対応
(ボタン1でOUT1、ボタン2でOUT2が押している間出力ON)
- 送信機③④の信号は、受信機Bに対応
(ボタン3でOUT1、ボタン4でOUT2が押している間出力ON)
- 送信機⑤⑥の信号は、受信機Cに対応
(ボタン5でOUT1、ボタン6でOUT2が押している間出力ON)
- 送信機⑦⑧の信号は、受信機Dに対応
(ボタン7でOUT1、ボタン8でOUT2が押している間出力ON)

送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	8点式送信機
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	1～16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定してください。 受信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	OFF: アンサーバックなし
	2～3	4点/6点式	ALL OFF
	4～8	未使用	ALL OFF

受信機の設定

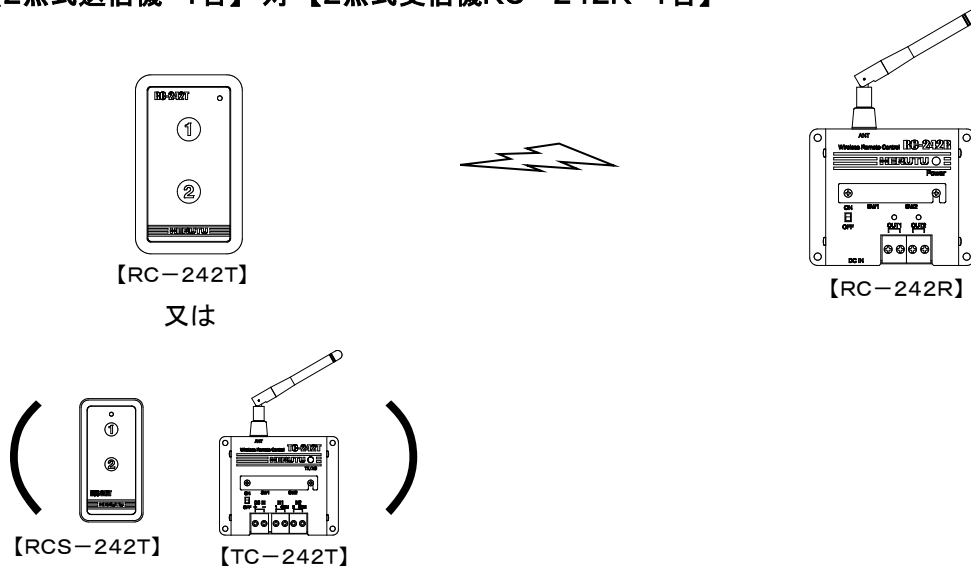
ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC-242R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	1～16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定してください。 送信機と同じ設定にしてください。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON: スルー出力 OFF: ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5～6	ユニット設定	受信機A→ユニット設定A 受信機B→ユニット設定B 受信機C→ユニット設定C 受信機D→ユニット設定D
	7～8	未使用	ALL OFF

注意

1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定して下さい。

8. 動作

8-1. 【2点式送信機 1台】 対 【2点式受信機RC-242R 1台】



送信機(押しボタン)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	"ピッ"
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

送信機(接点入力)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	
任意の接点をONする	接点がONした時、赤色LED1回点灯	
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであれば接点ONの間、緑色LED点灯	

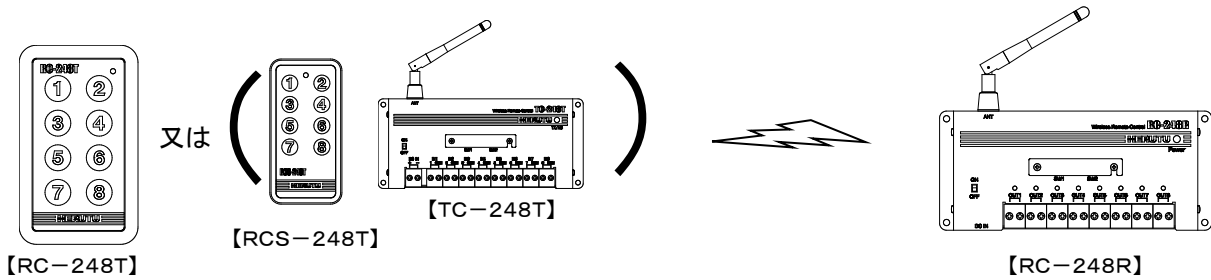
受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す(接点①ON)	OUT1/OUT2出力ON(保持)	OUT1/OUT2LED(赤)点灯
ボタン②を押す(接点②ON)	OUT1/OUT2出力OFF	OUT1/OUT2LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す(接点①ON)	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1LED(赤)点灯
ボタン②を押す(接点②ON)	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2LED(赤)点灯

8-2. 【8点式送信機 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	"ピッ" 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

送信機(接点入力)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	
任意の接点をONする	接点がONした時、赤色LED1回点灯	
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであれば接点ONの間、緑色LED点灯	

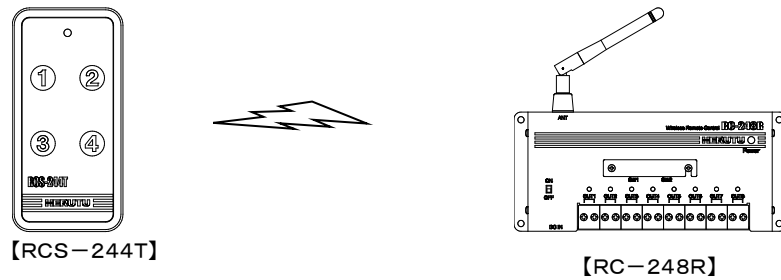
受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す(接点①ON)	OUT1/OUT2出力ON(保持)	OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン②を押す(接点②ON)	OUT1/OUT2出力OFF	OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン③を押す(接点③ON)	OUT3/OUT4出力ON(保持)	OUT3/OUT4 LED(赤)点灯
ボタン④を押す(接点④ON)	OUT3/OUT4出力OFF	OUT3/OUT4 LED(赤)消灯
ボタン⑤を押す(接点⑤ON)	OUT5/OUT6出力ON(保持)	OUT5/OUT6 LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す(接点⑥ON)	OUT5/OUT6出力OFF	OUT5/OUT6 LED(赤)消灯
ボタン⑦を押す(接点⑦ON)	OUT7/OUT8出力ON(保持)	OUT7/OUT8 LED(赤)点灯
ボタン⑧を押す(接点⑧ON)	OUT7/OUT8出力OFF	OUT7/OUT8 LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す(接点①ON)	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1 LED(赤)点灯
ボタン②を押す(接点②ON)	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2 LED(赤)点灯
ボタン③を押す(接点③ON)	ボタンを押している間、OUT3出力ON	OUT3 LED(赤)点灯
ボタン④を押す(接点④ON)	ボタンを押している間、OUT4出力ON	OUT4 LED(赤)点灯
ボタン⑤を押す(接点⑤ON)	ボタンを押している間、OUT5出力ON	OUT5 LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す(接点⑥ON)	ボタンを押している間、OUT6出力ON	OUT6 LED(赤)点灯
ボタン⑦を押す(接点⑦ON)	ボタンを押している間、OUT7出力ON	OUT7 LED(赤)点灯
ボタン⑧を押す(接点⑧ON)	ボタンを押している間、OUT8出力ON	OUT8 LED(赤)点灯

8-3. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



送信機(押しボタン)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ”
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

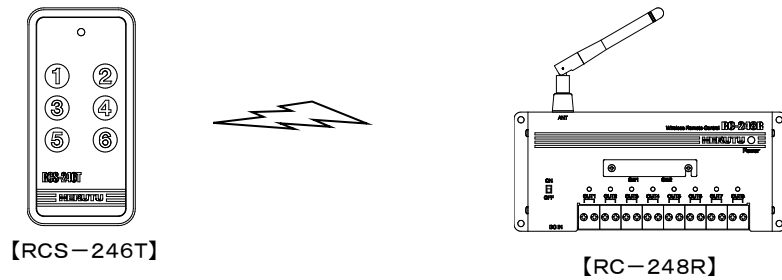
受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	OUT1/OUT2出力ON(保持)	OUT1/OUT2LED(赤)点灯
ボタン②を押す	OUT1/OUT2出力OFF	OUT1/OUT2LED(赤)消灯
ボタン③を押す	OUT3/OUT4出力ON(保持)	OUT3/OUT4LED(赤)点灯
ボタン④を押す	OUT3/OUT4出力OFF	OUT3/OUT4LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1LED(赤)点灯
ボタン②を押す	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2LED(赤)点灯
ボタン③を押す	ボタンを押している間、OUT3出力ON	OUT3LED(赤)点灯
ボタン④を押す	ボタンを押している間、OUT4出力ON	OUT4LED(赤)点灯

8-4. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【8点式受信機RC-248R 1台】



送信機(押しボタン)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ”
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

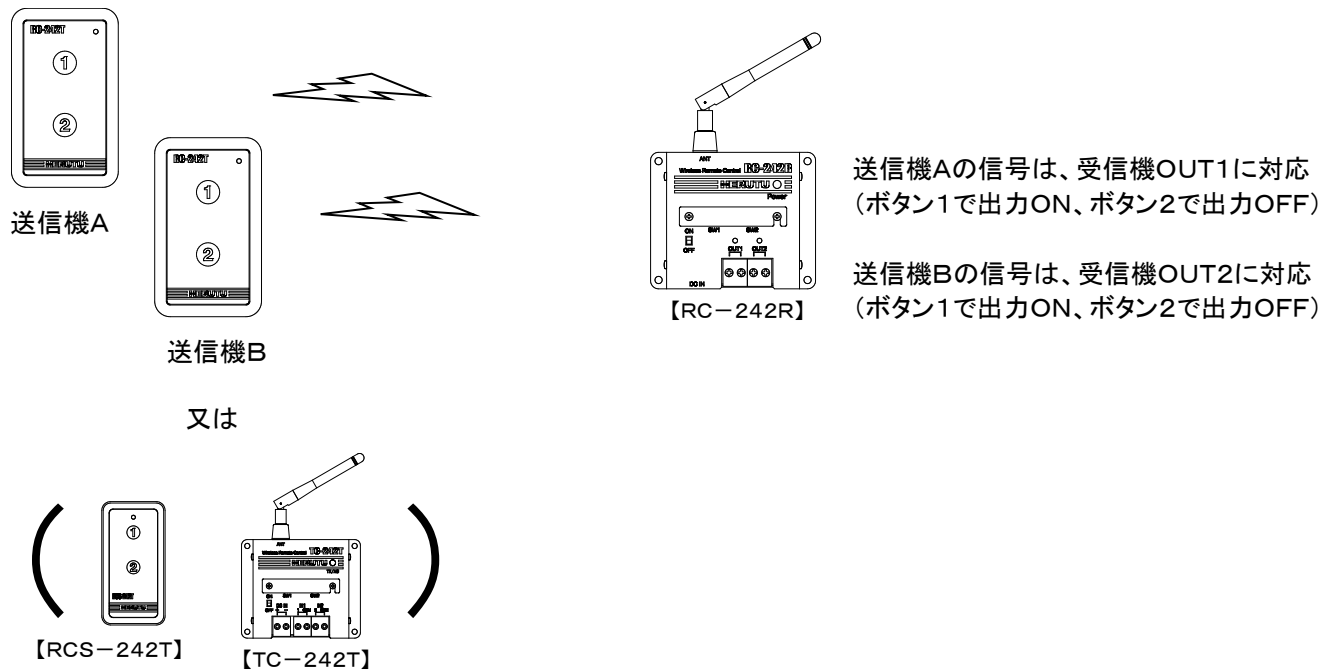
受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	OUT1/OUT2出力ON(保持)	OUT1/OUT2LED(赤)点灯
ボタン②を押す	OUT1/OUT2出力OFF	OUT1/OUT2LED(赤)消灯
ボタン③を押す	OUT3/OUT4出力ON(保持)	OUT3/OUT4LED(赤)点灯
ボタン④を押す	OUT3/OUT4出力OFF	OUT3/OUT4LED(赤)消灯
ボタン⑤を押す	OUT5/OUT6出力ON(保持)	OUT5/OUT6LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す	OUT5/OUT6出力OFF	OUT5/OUT6LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1LED(赤)点灯
ボタン②を押す	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2LED(赤)点灯
ボタン③を押す	ボタンを押している間、OUT3出力ON	OUT3LED(赤)点灯
ボタン④を押す	ボタンを押している間、OUT4出力ON	OUT4LED(赤)点灯
ボタン⑤を押す	ボタンを押している間、OUT5出力ON	OUT5LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す	ボタンを押している間、OUT6出力ON	OUT6LED(赤)点灯

8-5. 【2点式送信機 2台】 対 【受信機RC-242R 1台】 ※ラッチ出力のみ



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	"ピッ" 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

送信機(接点入力)の動作

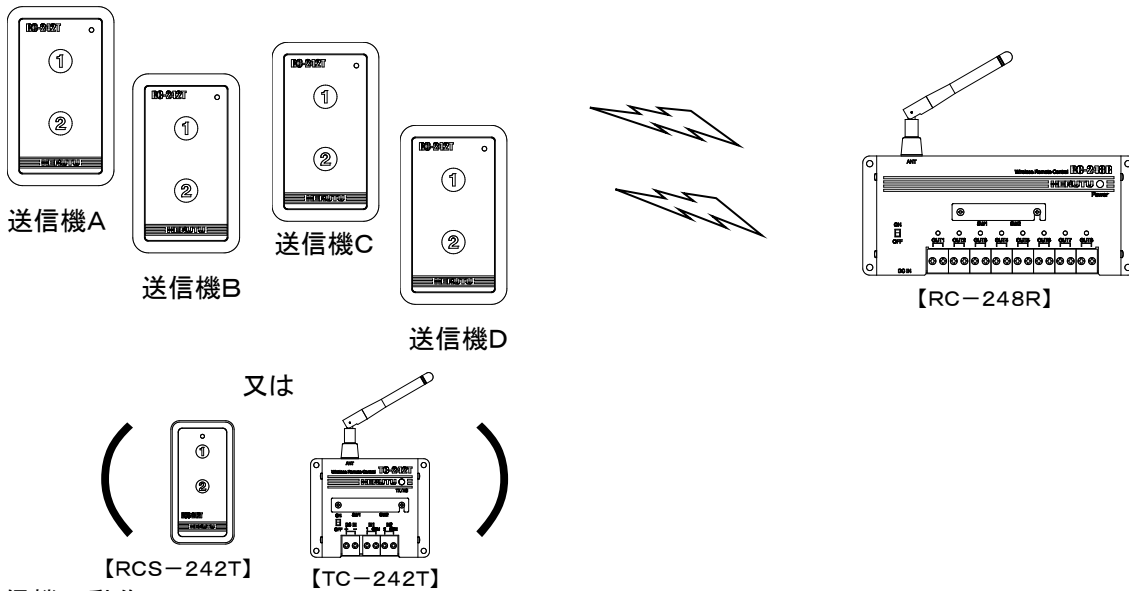
動作	送信機動作	
	送信機LED	
任意の接点をONする	接点がONした時、赤色LED1回点灯	
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであれば接点ONの間、緑色LED点灯	

受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
送信機A ボタン①を押す(接点①ON)	OUT1出力ON(保持)	OUT1 LED(赤)点灯
送信機A ボタン②を押す(接点②ON)	OUT1出力OFF	OUT1 LED(赤)消灯
送信機B ボタン①を押す(接点①ON)	OUT2出力ON(保持)	OUT2 LED(赤)点灯
送信機B ボタン②を押す(接点①ON)	OUT2出力OFF	OUT2 LED(赤)消灯

※送信機N台 対 受信機1台で使用する場合、複数の送信機のボタンを同時に押すと混信のため、受信機は正常に動作しません。複数の送信機を同時に操作しないようにしてください。

8-6. 【2点式送信機 4台】 対 【受信機RC-248R 1台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	"ピッ" 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

送信機(接点入力)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	
任意の接点をONする	接点がONした時、赤色LED1回点灯	
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであれば接点ONの間、緑色LED点灯	

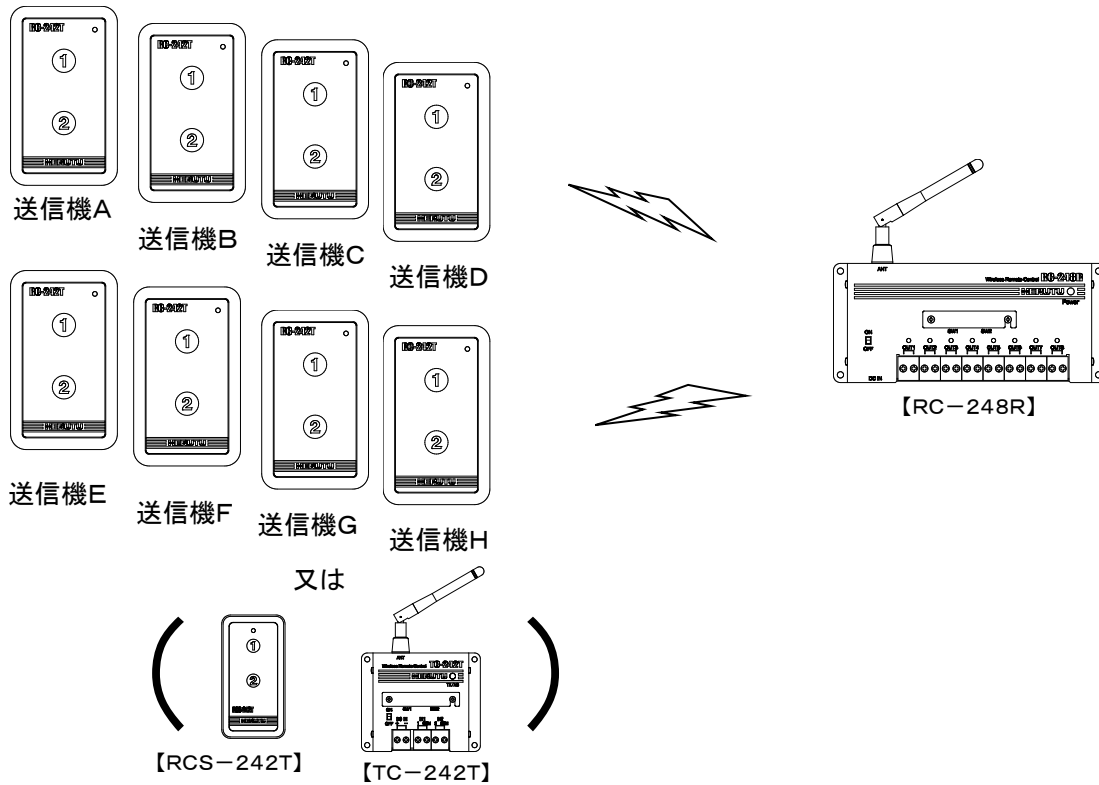
受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
送信機A ボタン①を押す(接点①ON)	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1 LED(赤)点灯
送信機A ボタン②を押す(接点②ON)	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2 LED(赤)点灯
送信機B ボタン①を押す(接点①ON)	ボタンを押している間、OUT3出力ON	OUT3 LED(赤)点灯
送信機B ボタン②を押す(接点②ON)	ボタンを押している間、OUT4出力ON	OUT4 LED(赤)点灯
送信機C ボタン①を押す(接点①ON)	ボタンを押している間、OUT5出力ON	OUT5 LED(赤)点灯
送信機C ボタン②を押す(接点②ON)	ボタンを押している間、OUT6出力ON	OUT6 LED(赤)点灯
送信機D ボタン①を押す(接点①ON)	ボタンを押している間、OUT7出力ON	OUT7 LED(赤)点灯
送信機D ボタン②を押す(接点②ON)	ボタンを押している間、OUT8出力ON	OUT8 LED(赤)点灯

※ラッチ仕様については次項をお読みください。

※送信機N台 対 受信機1台で使用する場合、複数の送信機のボタンを同時に押すと混信のため、受信機は正常に動作しません。複数の送信機を同時に操作しないようにしてください。

8-7.【2点式送信機 8台】対【受信機RC-248R 1台】※ラッチ出力のみ



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

送信機(接点入力)の動作

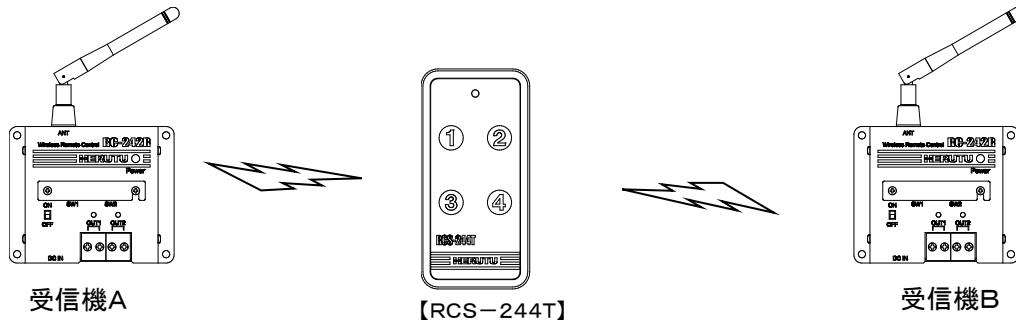
動作	送信機動作	
	送信機LED	
任意の接点をONする	接点がONした時、赤色LED1回点灯	
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであれば接点ONの間、緑色LED点灯	

受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
送信機A ボタン①を押す(接点①ON)	OUT1出力ON(保持)	OUT1 LED(赤)点灯
送信機A ボタン②を押す(接点②ON)	OUT1出力OFF	OUT1 LED(赤)消灯
送信機B ボタン①を押す(接点①ON)	OUT2出力ON(保持)	OUT2 LED(赤)点灯
送信機B ボタン②を押す(接点②ON)	OUT2出力OFF	OUT2 LED(赤)消灯
送信機C ボタン①を押す(接点①ON)	OUT3出力ON(保持)	OUT3 LED(赤)点灯
送信機C ボタン②を押す(接点②ON)	OUT3出力OFF	OUT3 LED(赤)消灯
送信機D ボタン①を押す(接点①ON)	OUT4出力ON(保持)	OUT4 LED(赤)点灯
送信機D ボタン②を押す(接点②ON)	OUT4出力OFF	OUT4 LED(赤)消灯
送信機E ボタン①を押す(接点①ON)	OUT5出力ON(保持)	OUT5 LED(赤)点灯
送信機E ボタン②を押す(接点②ON)	OUT5出力OFF	OUT5 LED(赤)消灯
送信機F ボタン①を押す(接点①ON)	OUT6出力ON(保持)	OUT6 LED(赤)点灯
送信機F ボタン②を押す(接点②ON)	OUT6出力OFF	OUT6 LED(赤)消灯
送信機G ボタン①を押す(接点①ON)	OUT7出力ON(保持)	OUT7 LED(赤)点灯
送信機G ボタン②を押す(接点②ON)	OUT7出力OFF	OUT7 LED(赤)消灯
送信機H ボタン①を押す(接点①ON)	OUT8出力ON(保持)	OUT8 LED(赤)点灯
送信機H ボタン②を押す(接点②ON)	OUT8出力OFF	OUT8 LED(赤)消灯

※送信機N台 対 受信機1台で使用する場合、複数の送信機のボタンを同時に押すと混信のため、受信機は正常に動作しません。複数の送信機を同時に操作しないようにしてください。

8-8. 【4点式送信機RCS-244T 1台】 対 【受信機RC-242R 2台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回

受信機 ラッチ出力設定時の動作

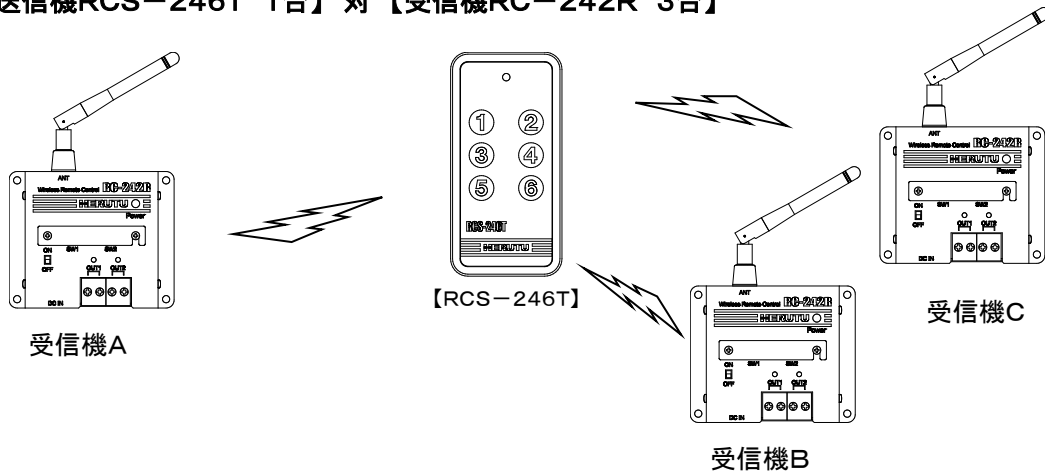
動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	受信機A OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機A OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン②を押す	受信機A OUT1/OUT2出力OFF	受信機A OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン③を押す	受信機B OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機B OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン④を押す	受信機B OUT1/OUT2出力OFF	受信機B OUT1/OUT2 LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	受信機A ボタンを押している間、OUT1出力ON	受信機A OUT1 LED(赤)点灯
ボタン②を押す	受信機A ボタンを押している間、OUT2出力ON	受信機A OUT2 LED(赤)点灯
ボタン③を押す	受信機B ボタンを押している間、OUT1出力ON	受信機B OUT1 LED(赤)点灯
ボタン④を押す	受信機B ボタンを押している間、OUT2出力ON	受信機B OUT2 LED(赤)点灯

1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定するため、送信機のアンサーバックは使用できません。

8-9. 【6点式送信機RCS-246T 1台】 対 【受信機RC-242R 3台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回

受信機 ラッチ出力設定時の動作

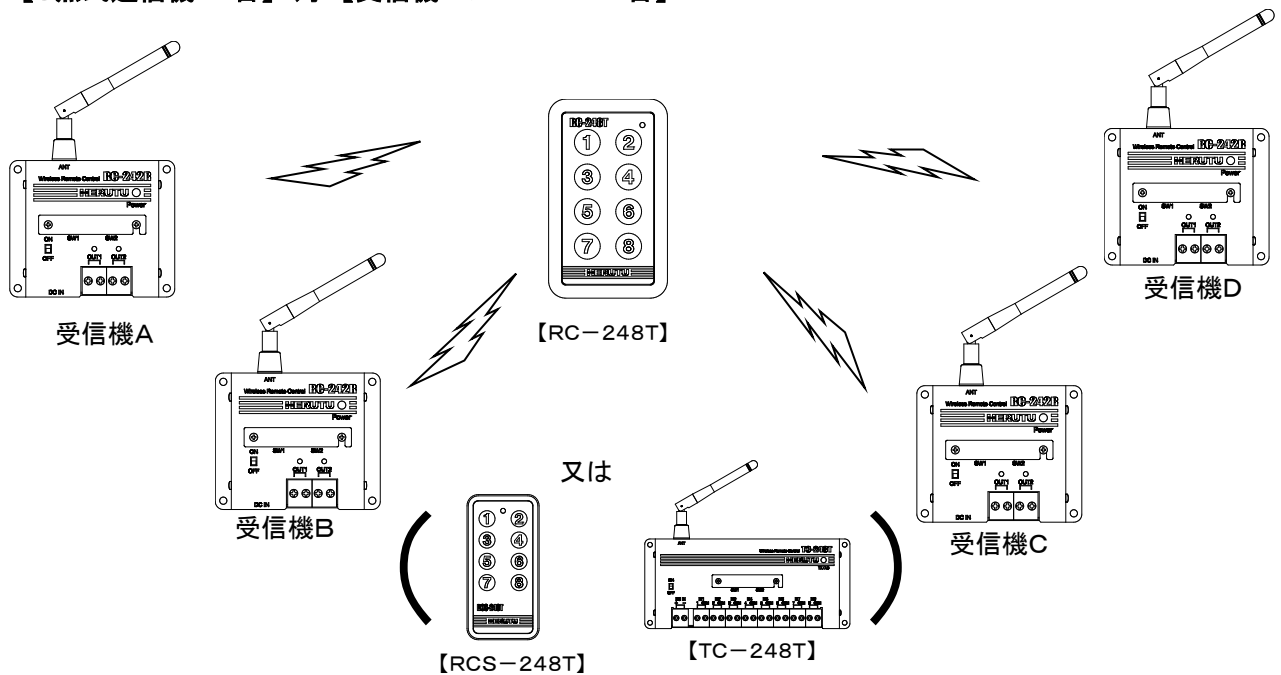
動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	受信機A OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機A OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン②を押す	受信機A OUT1/OUT2出力OFF	受信機A OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン③を押す	受信機B OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機B OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン④を押す	受信機B OUT1/OUT2出力OFF	受信機B OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン⑤を押す	受信機C OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機C OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す	受信機C OUT1/OUT2出力OFF	受信機C OUT1/OUT2 LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す	受信機A ボタンを押している間、OUT1出力ON	受信機A OUT1 LED(赤)点灯
ボタン②を押す	受信機A ボタンを押している間、OUT2出力ON	受信機A OUT2 LED(赤)点灯
ボタン③を押す	受信機B ボタンを押している間、OUT1出力ON	受信機B OUT1 LED(赤)点灯
ボタン④を押す	受信機B ボタンを押している間、OUT2出力ON	受信機B OUT2 LED(赤)点灯
ボタン⑤を押す	受信機C ボタンを押している間、OUT1出力ON	受信機C OUT1 LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す	受信機C ボタンを押している間、OUT2出力ON	受信機C OUT2 LED(赤)点灯

1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定するため、送信機のアンサーバックは使用できません。

8-10. 【8点式送信機 1台】 対 【受信機RC-242R 4台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回

送信機(接点入力)の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	
任意の接点をONする	接点がONした時、赤色LED1回点灯	

受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す(接点①ON)	受信機A OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機A OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン②を押す(接点②ON)	受信機A OUT1/OUT2出力OFF	受信機A OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン③を押す(接点③ON)	受信機B OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機B OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン④を押す(接点④ON)	受信機B OUT1/OUT2出力OFF	受信機B OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン⑤を押す(接点⑤ON)	受信機C OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機C OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す(接点⑥ON)	受信機C OUT1/OUT2出力OFF	受信機C OUT1/OUT2 LED(赤)消灯
ボタン⑦を押す(接点⑦ON)	受信機D OUT1/OUT2出力ON(保持)	受信機D OUT1/OUT2 LED(赤)点灯
ボタン⑧を押す(接点⑧ON)	受信機D OUT1/OUT2出力OFF	受信機D OUT1/OUT2 LED(赤)消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
ボタン①を押す(接点①ON)	受信機A 信号ONの間、OUT1出力ON	受信機A OUT1 LED(赤)点灯
ボタン②を押す(接点②ON)	受信機A 信号ONの間、OUT2出力ON	受信機A OUT2 LED(赤)点灯
ボタン③を押す(接点③ON)	受信機B 信号ONの間、OUT1出力ON	受信機B OUT1 LED(赤)点灯
ボタン④を押す(接点④ON)	受信機B 信号ONの間、OUT2出力ON	受信機B OUT2 LED(赤)点灯
ボタン⑤を押す(接点⑤ON)	受信機C 信号ONの間、OUT1出力ON	受信機C OUT1 LED(赤)点灯
ボタン⑥を押す(接点⑥ON)	受信機C 信号ONの間、OUT2出力ON	受信機C OUT2 LED(赤)点灯
ボタン⑦を押す(接点⑦ON)	受信機D 信号ONの間、OUT1出力ON	受信機D OUT1 LED(赤)点灯
ボタン⑧を押す(接点⑧ON)	受信機D 信号ONの間、OUT2出力ON	受信機D OUT2 LED(赤)点灯

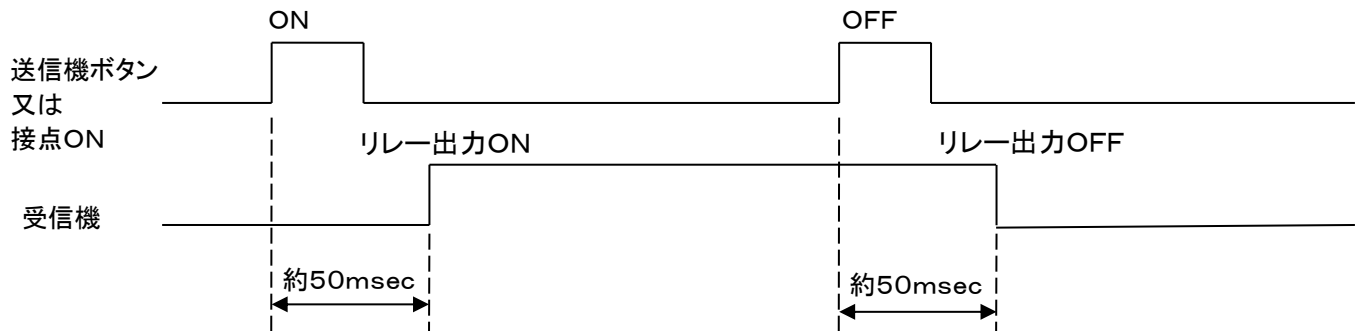
1対Nで使用する場合、送信機のアンサーバック設定は“なし(OFF)”に設定するため、送信機のアンサーバックは使用できません。

9. ご利用上の注意

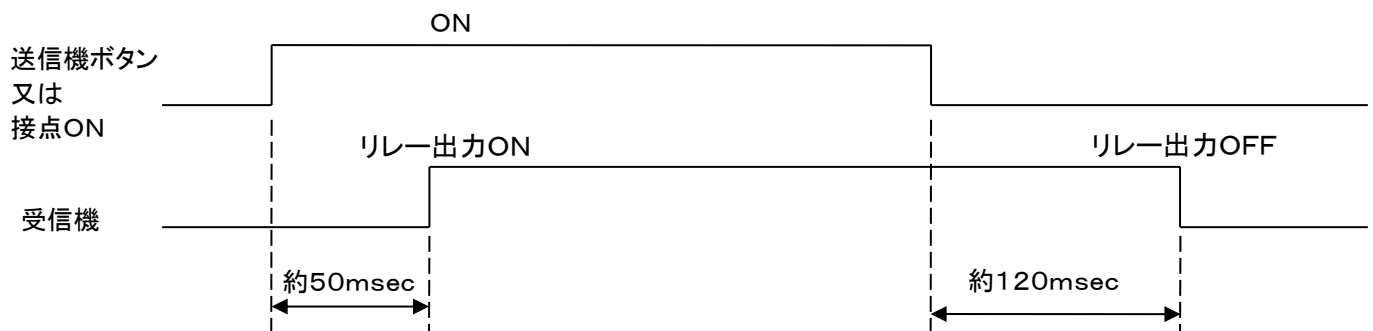
◆通信レスポンス

送信機のボタンが押されてから、または接点信号ONしてから受信機のリレー出力がON/OFFするのに通信環境が良好な場所でも下記遅延時間が発生します。また、通信環境が悪く通信エラーが頻発するような場所では下記遅延時間に限らず発生しますので、ご了解の上ご利用ください。

(ラッチ出力の場合)



(スルー出力の場合)



◆長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を取り外して保管してください。

◆本製品を同一エリアで複数使用する場合は、受信機同士、送信機同士又は送信機と受信機は少なくとも50cm以上離して設置してください。

◆通信距離

本製品の通信距離は屋内約20m、屋外50m程度が目安となりますが、設定方法(ラッチ出力/スルー出力、アンサーバックあり/なし)や使用環境により通信距離が異なりますのでご理解の上、ご利用ください。

スルー仕様でご利用いただく場合、通信環境や通信距離により受信機からの出力が瞬間的にOFFすることがあります。また、同一エリアで複数セットを同時に使用するとチャンネルテーブルを異なる設定にしている場合でも、受信機からの出力は瞬間的にOFFすることがあります。本製品の特性をご理解いただき、接続機器側で保持をしていただく等の対策をしてご利用ください。

10. 仕様

共通仕様(無線部:内蔵無線モジュール HRF-2401)

項目	仕様
適合規格	2.4GHz小電力データ通信システム 証明規則第2条第1項第19号の無線設備 無線設備規則第49条の20第1項 FCC Part15C(アメリカ合衆国) IC RSS 247(カナダ)
電波形式	F1D
使用周波数	2,403MHz~2,478MHz
チャンネル数	64CH
変調方式	GFSK
通信方式	単信方式
空中線電力	2.1mW

送信機

項目	仕様	
型式	RC-242T	RC-248T
入力	押しボタン×2点	押しボタン×8点
出力	ブザー出力(押しボタン動作確認用)	
スイッチ	8連ディップスイッチ×2個	
表示	LED 1点(赤色/緑色)	
電源	単4形アルカリ乾電池×2本	
使用温湿度範囲	温度 0~50℃ 湿度 35~80%以下(結露なきこと)	
外形寸法	69W×115D×20Hmm	
重量	約120g(電池含む,専用カバー含まず)	
アンテナ	内蔵アンテナ	
電池寿命 (アルカリ乾電池 使用時)	アンサーバックなし設定時→ボタン連続押しで約80時間(1回1秒の押下で約28万回) アンサーバックあり設定時→ボタン連続押しで約40時間(1回1秒の押下で約14万回)	

小型送信機

項目	仕様			
型式	RCS-242T	RCS-244T	RCS-246T	RCS-248T
入力	押しボタン×2点	押しボタン×4点	押しボタン×6点	押しボタン×8点
出力	ブザー出力(押しボタン動作確認用)			
スイッチ	8連ディップスイッチ×2個			
表示	LED 1点(赤色/緑色)			
電源	コイン電池 CR2032×1個			
使用温湿度範囲	温度 0~50℃ 湿度 35~80%以下(結露なきこと)			
外形寸法	45W×90D×12Hmm			
重量	約40g(電池含む, 専用カバー含まず)			
アンテナ	内蔵アンテナ			
電池寿命	アンサーバックなし設定時→ボタン連続押しで約10時間(1回1秒の押下で約36000回) アンサーバックあり設定時→ボタン連続押しで約5時間(1回1秒の押下で約18000回)			

接点送信機

項目	仕様	
型式	TC242T	TC248T
入力	無電圧接点入力×2点 接点容量 DC5V/20mA	無電圧接点入力×8点 接点容量 DC5V/20mA
スイッチ	電源スイッチ×1点 8連ディップスイッチ×2個	
表示	LED 1点(赤色/緑色)	
電源	DC12~24V±10% ※オプションのACアダプタ使用によりAC100~240V入力で利用できます。	
消費電流	20mA以下(DC24V入力時)	35mA以下(DC24V入力時)
使用温湿度範囲	温度 0~50℃ 湿度 35~80%以下(結露なきこと)	
外形寸法	103W×85H×26Dmm (突起物は除く)	195W×85H×26Dmm (突起物は除く)
重量	約250g(アンテナ含む)	約480g(アンテナ含む)
アンテナ	ダイポールアンテナ×1本	

※アンテナの型式は「GRF1398」です。

(北米向け接点送信機TC-242TF/TC-248TFのアンテナ型式は「GRF1696-SMB」です。)

※有償オプションのACアダプタ型式は「ADB24050-C」です。

受信機

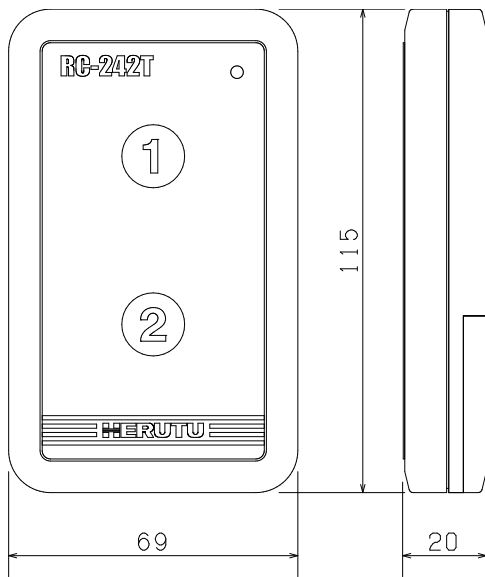
項目	仕様	
型式	RC-242R	RC-248R
出力	接点出力×2点(端子台 M3) 接点構造/構成 MOS-FET/1a 最大定格負荷電圧 AC/DC 30V 最大定格負荷電流 0.5A	接点出力×8点(端子台 M3) 接点構造/構成 MOS-FET/1a 最大定格負荷電圧 AC/DC 30V 最大定格負荷電流 0.5A
スイッチ	電源スイッチ×1点 8連ディップスイッチ×2個	
表示	リレー出力用LED(赤色)×2点 電源用LED(赤色)×1点	リレー出力用LED(赤色)×8点 電源用LED(赤色)×1点
電源	DC24V±20%(DC19~28V) ※付属のACアダプタ使用によりAC100~240V入力で利用できます。	
消費電流	50mA以下(DC24V入力時)	100mA以下(DC24V入力時)
使用温湿度範囲	温度 0~50℃ 湿度 35~80%以下(結露なきこと)	
外形寸法	103W×85H×26Dmm(突起物は除く)	195W×85H×26Dmm(突起物は除く)
重量	約250g(アンテナ含む)	約480g(アンテナ含む)
アンテナ	ダイポールアンテナ×1本	

※アンテナの型式は「GRF1398」です。

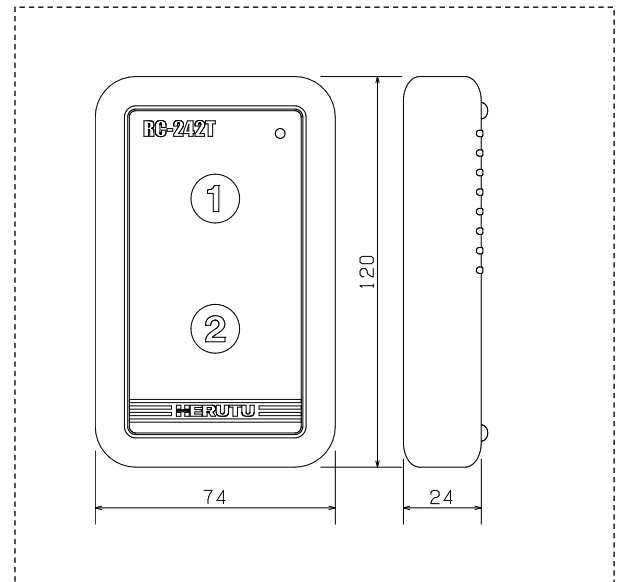
(北米向け受信機RC-242RF/RC-248RFのアンテナ型式は「GRF1696-SMB」です。)

11. 寸法図

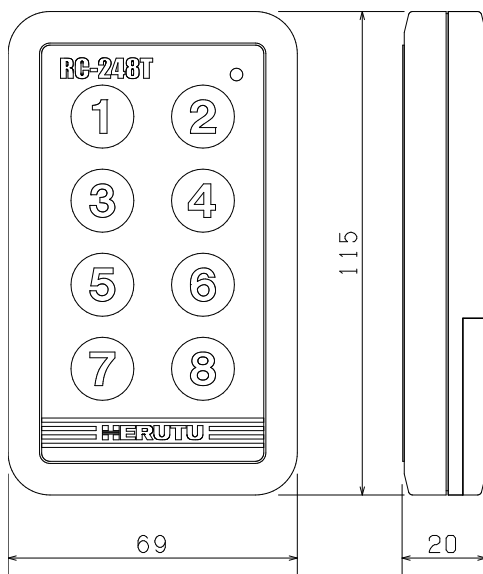
●2点式送信機 RC-242T



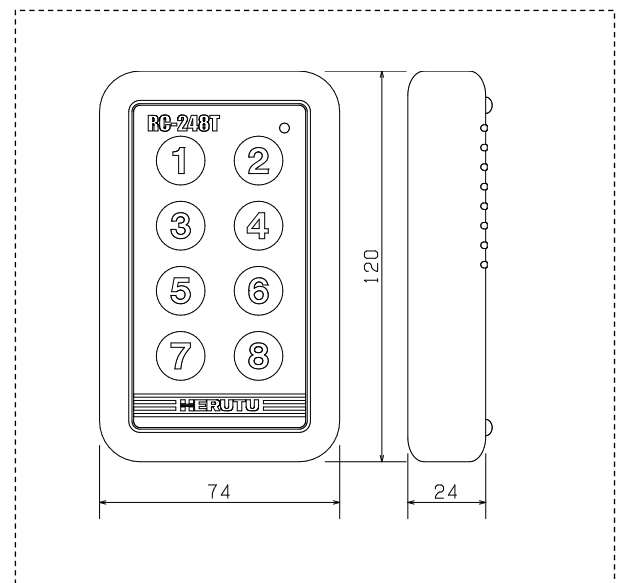
専用カバー装着時



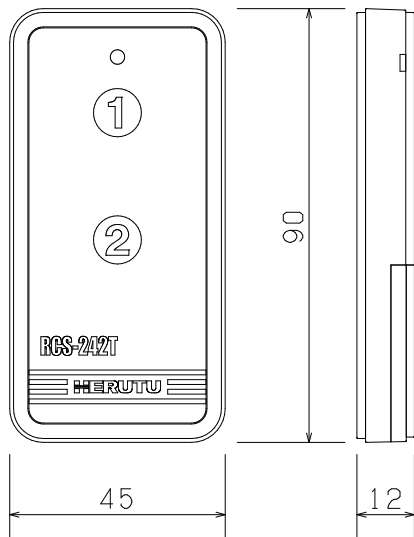
●8点式送信機 RC-248T



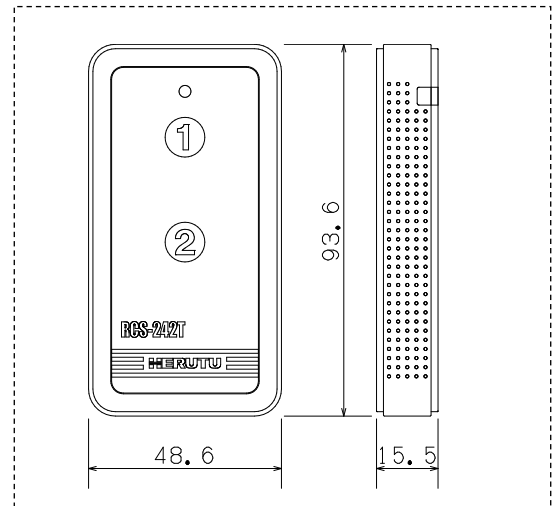
専用カバー装着時



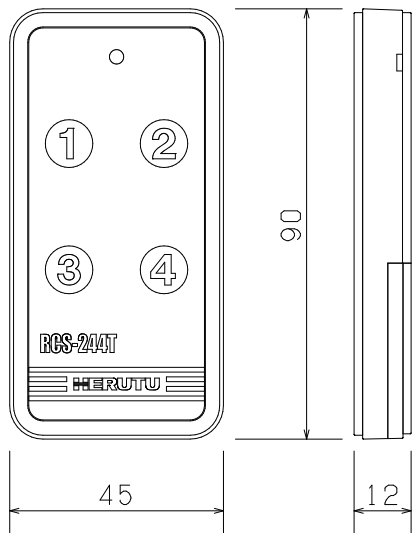
●小型2点式送信機 RCS-242T



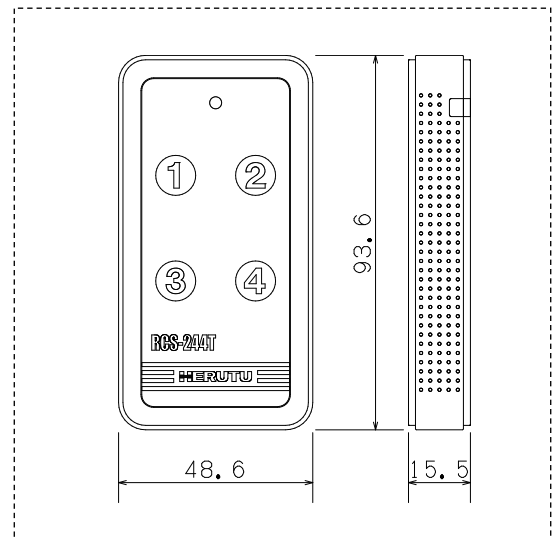
専用カバー装着時



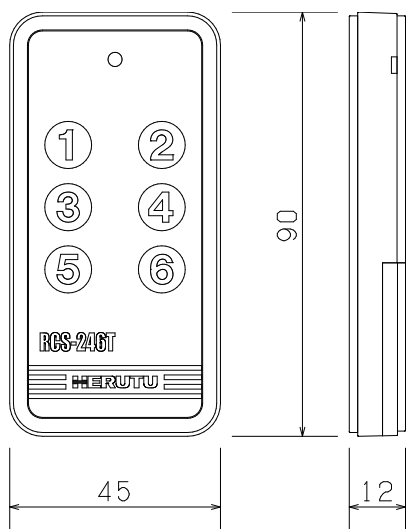
●小型4点式送信機 RCS-244T



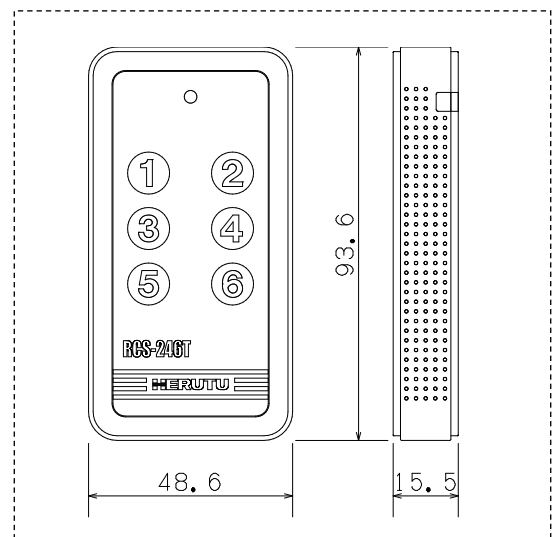
専用カバー装着時



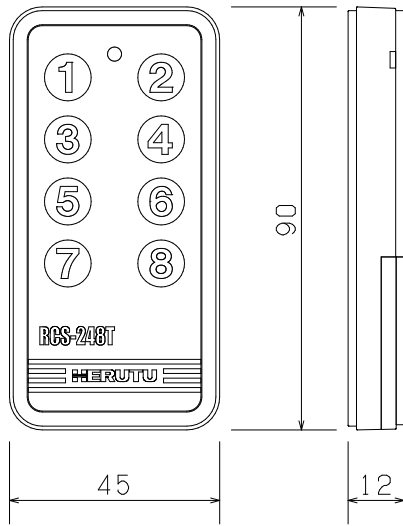
●小型6点式送信機 RCS-246T



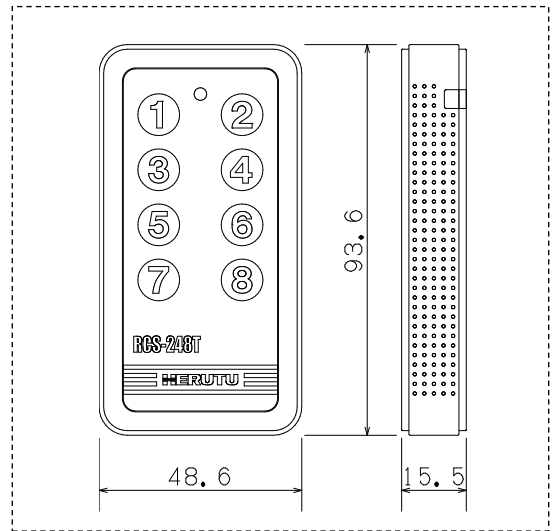
専用カバー装着時



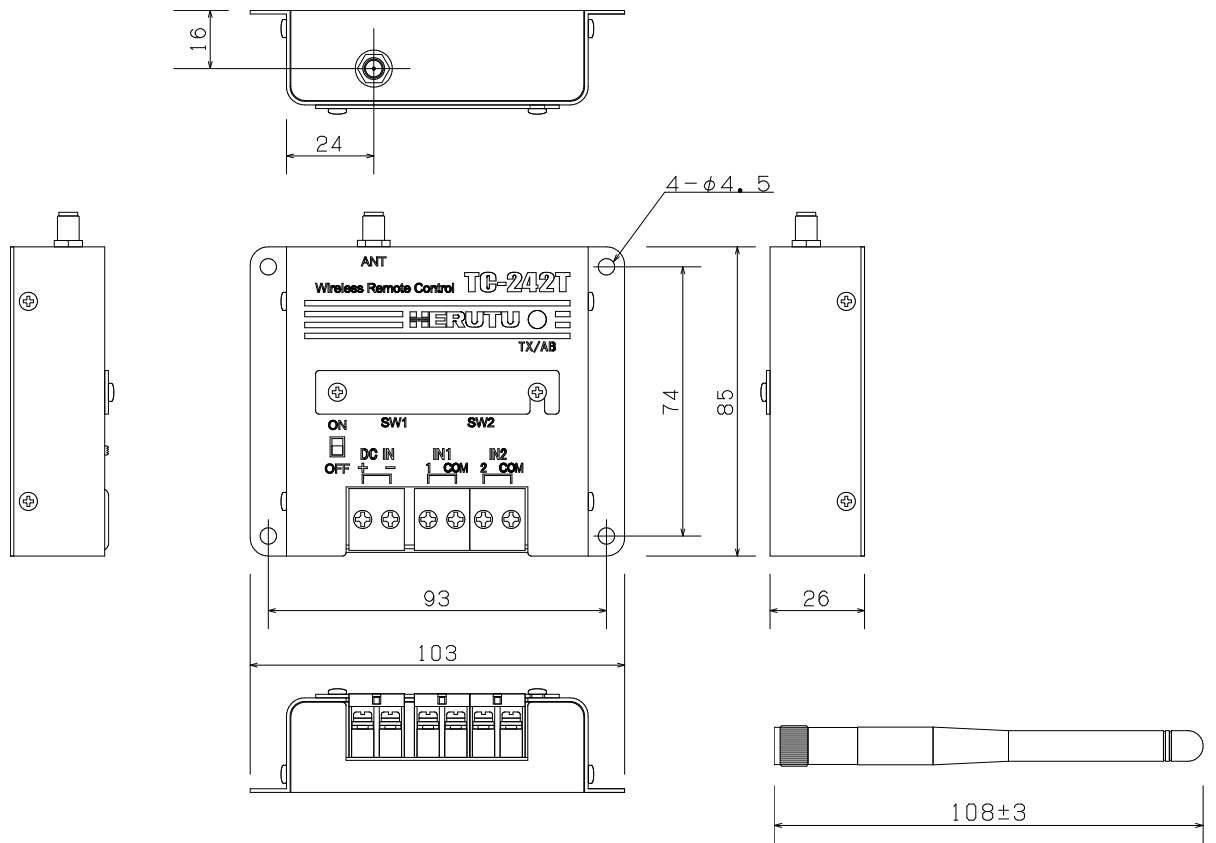
●小型8点式送信機 RCS-248T



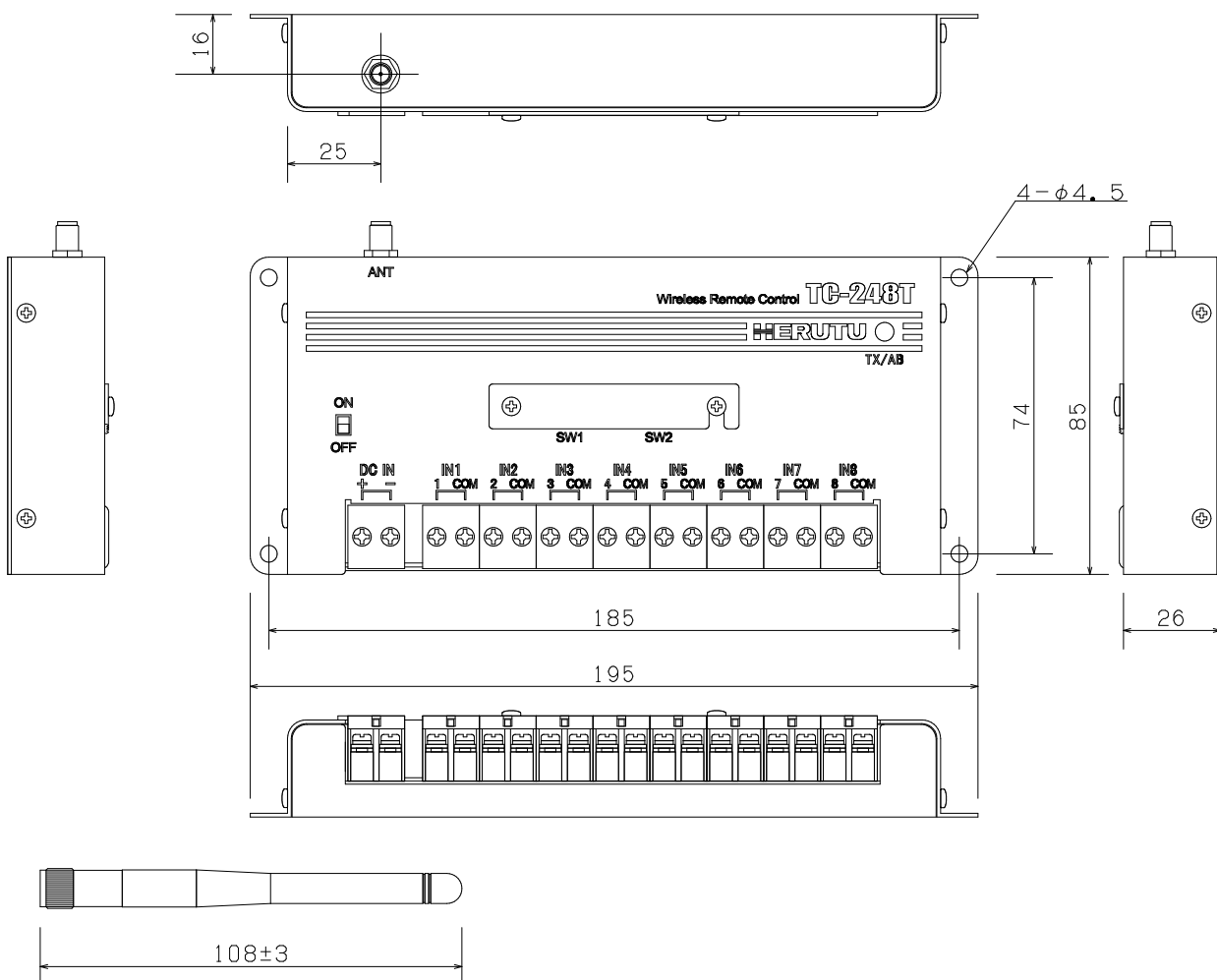
専用カバー装着時



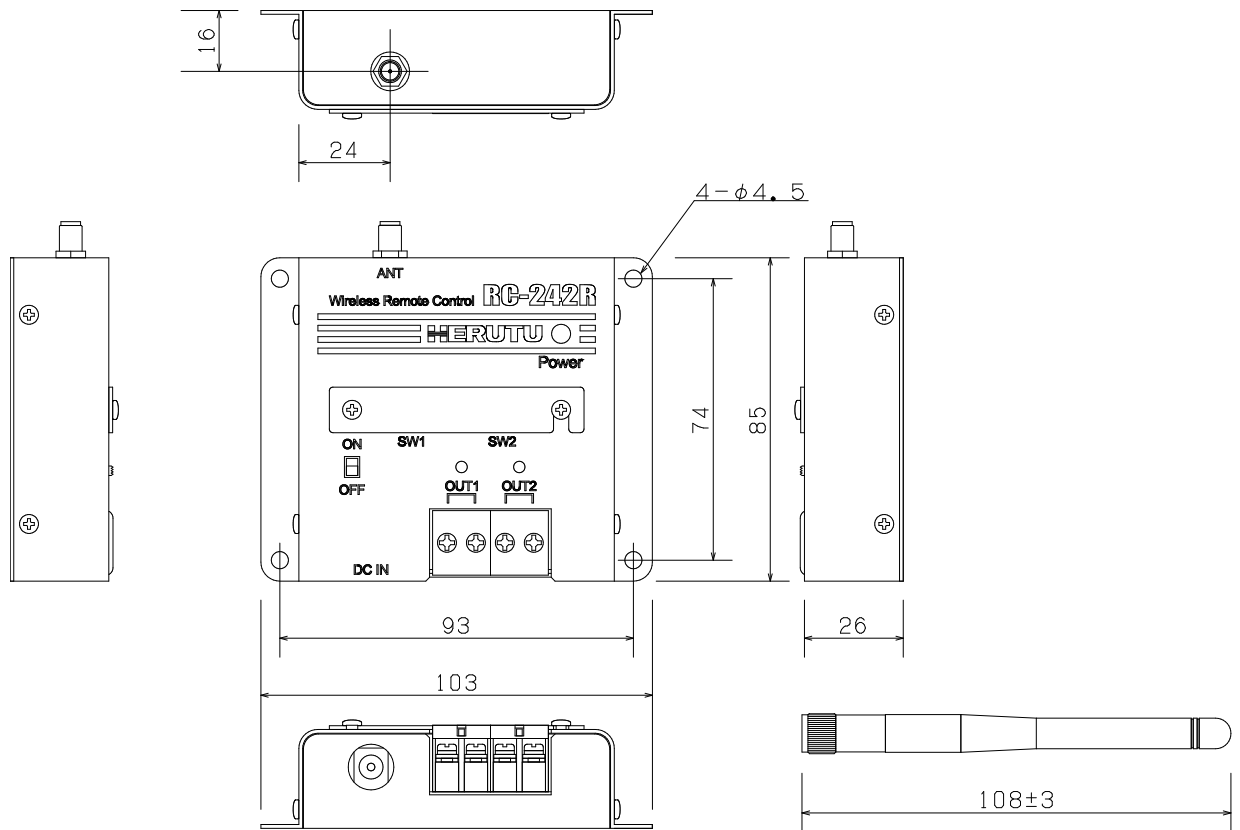
●2点式接点送信機 TC-242T



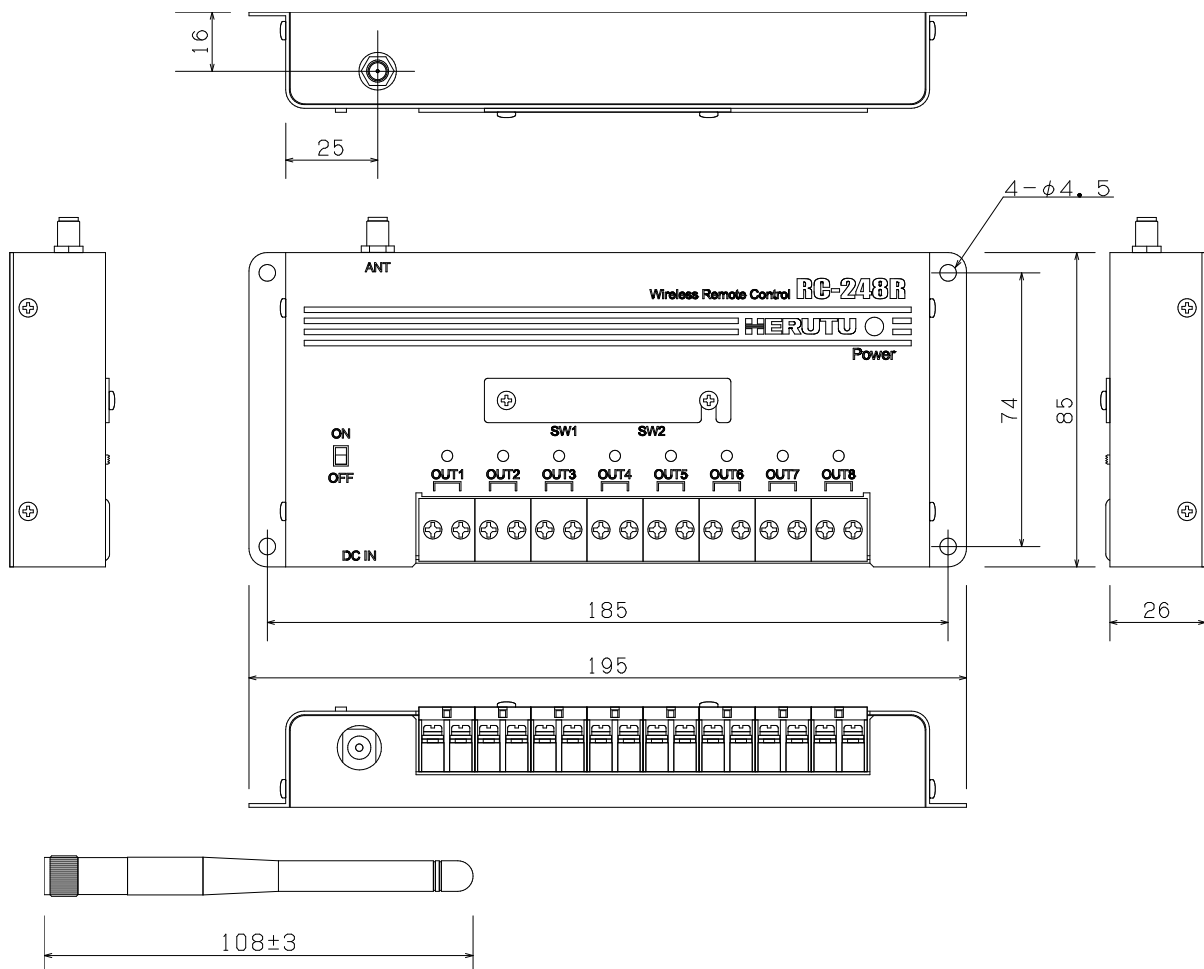
●8点式接点送信機 TC-248T



●2点式受信機 RC-242R



●8点式受信機 RC-248R



12. 故障と思う前に

現象	原因と対策
送信しない (LED(赤色又は緑色)が点かない)	電池容量がなくなっている。 →新しい電池に取り換えてください。アルカリ乾電池の場合は、2本とも新しい電池にしてください。
送信すると赤色LEDが2回点滅し、同時にブザーが2回鳴る	電池容量が少なくなっている →新しい電池に取り換えてください。アルカリ乾電池の場合は、2本とも新しい電池にしてください。
送信機の押しボタンを押しても受信機が反応しない	受信機の電源がはいっていない。 →通信する受信機の電源が入っていることを確認してください。 通信距離が遠すぎる。 →本機の通信可能距離を超えています。送信機と受信機が通信できる距離に設置してください。 受信機のアンテナ設置状態が良くない。 →受信機のアンテナが電波を遮る障害物に囲まれていたり、制御盤(鉄製)の中に設置されていないか確認し、アンテナの設置状態を改善してください。また、外部アンテナのご利用をご検討ください。「6. 受信機の設置」をご確認ください。 外的要因で通信ができない。 →本機と同じ周波数帯(2.4GHz帯)の製品が使用されていることにより通信できないことがあります。ご使用の製品情報と共に弊社営業部までご相談ください。 送信機と受信機の設定が合っていない。 →「7. 設定」をご確認ください。
受信機のPOWER LEDが点灯しない。	受信機の電源がはいっていない。 →通信する受信機の電源が入っていることを確認してください。
受信機のOUT LEDが点灯しない。	送信機と受信機の設定が合っていない。 →「7. 設定」をご確認ください。
受信機のOUT LEDは点灯するが、接続した機器が動作しない。	受信機リレー出力の定格外の機器を接続している。 →「10. 仕様」の受信機出力仕様をご確認ください。

13. 保証とアフターサービス

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、保証規定及び修理規定をご確認の上、お買い上げの販売店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。なお、最新の保証規定及び修理規定は、弊社ホームページでご確認いただけます。

〔保証規定〕

本規定は、お買い上げになられたヘルツ電子株式会社(以下「当社」といいます)の製品を安心してご利用いただけるよう、出荷後の保証について当社が定めたものです。

なお、本規定は特注品(カスタム品)には適用されません。また、仕入品は製造元の保証規定が適用されるものとし、本規定は適用されません。

<ご注意>万が一、お客様がお買い上げになられた製品に当社の旧保証規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、最新の規定が適用されますので、ご了承ください。

■保証期間

保証期間は、他に定めのない限り、「当社が製品を出荷した日から13ヵ月まで」といたします。保証期間内は、本規定の定めにより当社にて無償で新品交換または修理をいたします。

また、保証期間内に当社の責任による故障が発生し、故障が発生した製品(以下「本製品」といいます)を無償で新品交換または修理を実施した場合の本製品の保証期間は、「本製品の初回出荷日から13ヵ月、または新品交換もしくは修理を実施した本製品の出荷日から6ヵ月のいずれか遅く訪れる日まで」といたします。

なお、有償で修理を実施した場合の保証期間は、当社の修理規定の定めるところによります。

■保証範囲

保証期間内に当社の責任による故障が発生した場合、本製品を無償で新品交換または修理実施いたしますので、お買い上げの販売店、または当社営業部にお申し出ください。

保証期間内であっても、以下の各号に該当する場合は保証の対象外といたします。

1. お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
 2. お客様による本体の分解や改造による故障の場合。
 3. 火災・地震・水害等の天災地変及び異常電圧による故障・損傷の場合。
 4. 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。
 5. 本製品の付属品(ACアダプタ、アンテナ、接続ケーブル等)の故障の場合。
 6. 本製品に含まれる消耗品・有寿命部品の故障に起因する場合。
 - ① 消耗品:電池類(蓄電池、乾電池、ボタン電池等)、記録媒体(SDカード等)
 - ② 有寿命部品:各種スイッチ類(リミットスイッチ、押しボタンスイッチ等)、各種センサ
 - ③ その他使用により消耗・寿命があるもの
- 消耗品・有寿命部品が故障した場合は、有償での部品交換もしくは修理をいたします。
7. 本製品の取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。
 8. 当社以外で修理・調整・改良した場合。
 9. 当社において故障の再現ができない場合。

■本製品の修理について

本製品の修理は測定機器・治具等の設備を必要とするため、当社での引き取り修理といたします。

■本製品の新品交換または修理にかかる送料について

本製品を当社または販売店に送付いただく場合の送料、及び当社または販売店から新品交換または修理を実施した本製品をお客様へ送付する場合の送料は、当社または販売店にて負担いたします。

■免責事項

本製品の故障、もしくはその使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いません。

■その他

当社ホームページ上及び当社が提供しているカタログ、取扱説明書、技術資料、またはその他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

〔修理規定〕

本規定は、ヘルツ電子株式会社(以下「当社」といいます)が提供する有償修理サービス(以下「本サービス」といいます)に適用されるものといたします。

なお、本規定は特注品(カスタム品)には適用されません。また、仕入品は製造元の修理規定が適用されるものとし、本規定は適用されません。

<ご注意>万が一、お客様がお買い上げになられた製品に当社の旧修理規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、最新の規定が適用されますので、ご了承ください。

■規定対象

本サービスは、「保証規定に定める保証範囲外」かつ「販売開始日から修理実施期間終了日(生産終了日から7年)まで」の当社製品を対象として提供いたします。ただし、修理部品の在庫状況や調達状況により、修理実施期間終了日が早まる可能性がございますのでご了承ください。

■契約の成立

お客様が当社よりご提示したお見積書にご承諾いただき、修理実施期間終了日までにご注文書を発行いただいた時点で成立するものといたします。

■本サービスの目的

当社は、お客様にご利用いただいている当社製品が保証規定に定める保証範囲外で故障した場合、その機能・性能を修復することを目的として、本サービスを提供いたします。

なお、本サービスは測定機器・治具等の設備を必要とするため、当社での引き取り修理といたします。

■本サービスのご利用料金

本サービスのご利用料金は、以下の料金の合計といたします。

① 修理サービス料

修理サービス料は、お客様が修理をご希望する当社製品(以下「修理品」といいます)に対する修理実施に伴う、技術料+部品代+諸経費+消費税の合計です。

② 送料(梱包箱代含む)

修理品を当社に送付いただく場合の送料及び当社から修理品をお客様へ送付する場合の送料は、お客様のご負担でお願いいたします。万が一、修理品を着払いでご送付いただいた場合は本サービスのご利用料金に含めるものといたします。

■修理品の保証期間と保証範囲

修理品の保証期間は、「修理完了日から6ヵ月まで」といたします。ただし、当該修理部分(修理箇所や交換した部品)以外の故障は修理品の保証対象になりませんのでご注意ください。

なお、保証期間内に当社の責任による故障が発生した場合、本製品を無償で再修理を実施いたします。

■修理部品の取扱い

1. 本サービスを長期かつ安定して提供し、また環境保護等を推進するため、当社の判断により修理の際に再生部品または代替部品を使用することがあります。
2. 本サービスの提供による部品交換の際に取り外した部品を、リサイクルや分析などのために、当社の任意の判断で回収させていただく場合があります。回収した部品は当社の所有物として、当社の判断により、再生・利用または廃棄等をおこないますので、あらかじめご了承ください。

■本サービスのお見積

本サービスのお見積りにかかる費用は基本的に無償となります。

ただし、当社において故障の再現ができない場合は修理を実施できないため、お見積りをいたしません。なお、故障の再現に技術調査等が必要な場合は、故障の再現にかかる費用をお見積りいたします。

■未修理品の返却

当社において故障の再現ができなかった等の理由により、本サービスの料金のお見積りを実施しなかった場合、お預かりした修理品をお客様に返却いたします。

また、お見積書の作成日から3ヵ月を超えても、お客様からご注文をいただけなかった場合、もしくはお見積書にご承諾いただかず、お客様より修理を実施しない意思表示があった場合は、お客様が本サービスのご依頼をキャンセルされたものとし、当社は修理を実施せずに、お預かりした修理品をお客様に返却いたします。

なお、返却にあたり送料が発生する場合は、お客様のご負担といたします。

■個人情報の取り扱い

お客様よりご提供いただいたお客様の氏名・住所などの個人情報は、当社ホームページ上に掲載するプライバシーポリシーに従い、適切に取扱いをいたします。

■損害賠償

1. 当社が本サービスの提供について負う責任は、本規定に定める事項・内容に限られるものとし、特別な事情からお客様に生じた損害(お客様の逸失利益、第三者からお客様になされた賠償請求に基づく損害を含みます)およびお客様が修理品の故障・不具合等により当該製品を使用できなかったことによる損害については一切の責任を負わないものといたします。ただし、当該損害が当社の故意・重過失に基づき生じたものである場合はこの限りではありません。

2. 本サービスの提供に関し、当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合であっても、当社の故意・重過失の場合を除き、当社の責任は修理品の価値に相当する金額を上限といたします。なお、修理品の価値は、減価償却後の残存価値、または損害発生時に市場で販売されている同等の性能の商品の価格を基準として算出するものといたします。

■その他

1. お客様ご自身が貼られたシールや液晶保護シート類、外筐部品に施されたカラーリング等の原状復帰はいたしかねます。また、POP シール類が販売時に貼付されていた場合、外筐部品の交換の際にこれら POP シール類は修理部品として新しくご用意できません。外筐部品交換後は、POP シール類は貼付されていない状態での返却となります。
2. 当社ホームページ上及び当社が提供しているカタログ、取扱説明書、技術資料、またはその他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。



ヘルツ電子株式会社

HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8104 静岡県浜松市北区東三方町 422-1

(営業部) TEL. 053-438-3555 FAX. 053-438-3411

ホームページ <https://www.herutu.co.jp> E-mail info@herutu.co.jp